

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0008

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊	費目・工種明細など	規格 1 ・規格 2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
管路			式			
管渠更生工			式			
管渠更生			式			
ストリップ管			一式			
ダンパー工法 ストリップ			m		1, 525. 37	
ダンパー工法 SFジョイナー			m		1, 525. 37	
製管工			式			
スペーサー取付工			m		2. 30	
スペーサー取付工			m		45. 20	
補強鉄筋設置工 既設管径 φ 800mm			m		111. 69	
端部製管工（人力）			m		8. 3	
端部製管工（人力）			m		3. 0	
製管工			m		105. 69	
製管工			m		45. 20	
端部緊張工			箇所		8	
端部緊張工			箇所		2	
端部緊張工			箇所		4	

07-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0009

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格 1 ・規格 2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
充てん材注入工		式			
充てん材注入工（管内注入方式）		m		111.69	
充てん材注入工（ホース牽引方式）		m		2.30	
充てん材注入工（ホース牽引方式）		m		45.20	
充てん材スッパ－工		箇所		8	
充てん材スッパ－工		箇所		2	
充てん材スッパ－工		箇所		4	
管内注入口工		箇所		89	
管口仕上工		式			
管口仕上工（本管）		箇所		8	
管口仕上工（本管）		箇所		2	
管口仕上工（本管）		箇所		4	
管口仕上工（取付管）		箇所		32	
管口仕上工（取付管）		箇所		3	
管口仕上工（取付管）		箇所		1	
前処理工		式			
止水工		一式			
本管止水工（Y字管工法）		m		25.1	

07-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0010

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格 1 ・規格 2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
本管止水工（Y字管工法）		m		2.8	
本管止水工（Y字管工法）		m		11.3	
取付管口止水工（Y字管工法）		m		2.8	
換気工		式			
換気設備工		日		39.5	
交通管理工		式			
交通誘導警備員		一式			
交通誘導警備員A		人日		12.5	
交通誘導警備員B		人日		133.0	
直接工事費					
準備費		式			
既設管洗浄・調査工		式			
既設管洗浄工		m		113.99	
既設管洗浄工		m		45.20	
既設管内調査工		m		159.19	
換気工		式			
換気設備工		日		1.5	
共通仮設費（率分）					

07-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0011

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格 1 ・規格 2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費（率分）					
現場管理費計					
工事原価					
工事原価計					
一般管理費等					
契約保証費					
一般管理費等計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費					

＊ ＊ 附帯工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0012

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格 1 ・規格 2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
＊ ＊ 附帯工事費 ＊ ＊					
管路		式			
取付管		式			
取付管更生		式			
取付管更生工		一式			
取付管更生工法 L=1. 4m		箇所		1	
取付管更生材運搬費		一式			
運搬費		本		1	
換気工		式			
換気工		一式			
換気設備工		日		0. 5	
交通管理工		式			
交通誘導警備員		一式			
交通誘導警備員B		人日		4. 5	
直接工事費					
準備費		式			
前処理工		式			
支障物除去工		式			

07-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 附帯工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0013

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格 1 ・規格 2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
モルタル除去工		箇所		3	
取付管突出し処理工		箇所		1	
換気工		式			
換気設備工		日		1.0	
共通仮設費（率分）					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費（率分）					
現場管理費計					
工事原価					
工事原価計					
一般管理費等					
契約保証費					
一般管理費等計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費					

07-実施-下水-0001-当初

総括情報表

頁0-0014

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日/適用基準日 諸経費体系 ファイル名	4A 100 新潟市 実施設計書 0 当初 1 実施単価 29 新潟① 0-07. 06. 20 (0) 7 下水道 R:¥設計書¥2025_令和07年度¥054西部地域下水道事務所¥01当初¥0507-西下第6号-当初-白山排水区白山幹線26-1管更生工事. ES5		
	当 世 代		前 世 代
工種区分 施工地域区分 現場環境改善費 前払率 契約保証に係る保証 消費税率 労務単価の補正率 週休2日補正の有無 小型車補正の有無	04 下水道工事(4) 02 大都市(2) 00 なし 40 40% 01 金銭的保証 04 10% 21 0%:補正なし 14 通期(現場閉所)R6.10 00 小型車補正なし		
	工事価格	消費税相当額	工事費
本工事価格	55,940,000	5,594,000	61,534,000
附帯工事価格	500,000	50,000	550,000
工事価格計	56,440,000	5,644,000	62,084,000
	工事価格	消費税相当額	工事費

07-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0015

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊							X1000
管路							
							YG000000001 05=解除する
	0 省略			式		30,724,709	
管渠更生工							YG000000002
	0 省略			式		30,724,709	
管渠更生							YG000000003
	0 省略			式		15,741,818	
ストリップ管							YG000000004
	0 省略			式		15,741,818	
ダンベ-工法 ストリップ S形 幅255mm 厚12.5mm 新潟市設計単価表 (別冊) P.16							FDB1001 0
	0 省略	1,525.37	m		8,390	12,797,854	
ダンベ-工法 SFライナー S形 幅35mm 新潟市設計単価表 (別冊) P.16							FDB1002 0
	0 省略	1,525.37	m		1,930	2,943,964	
製管工							YG000000007
				式		5,314,981	
スパーサー取付工 既設管径: φ800mm以上 φ1000mm未満 φ900mm ダンベ-工法積算 0 省略							VC200 0
		2.30	m		19,123	43,982	施工 第0-0001号内訳表

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0016

費目・工種・施工名称・管理費区分	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ハブ取付工 既設管径: φ 1000mm以上 φ 1500mm以下 φ 1200mm ダンペ-工法積算 0 省略	45.20	m	20,558	929,221	VC201 0 施工 第0-0002号内訳表
補強鉄筋設置工 既設管径 φ 800mm 主鉄筋SD295 D10 7.13kg/m 配力鉄筋SD295 D10 5.60kg/m 見積歩掛 0 省略	111.69	m	21,040	2,685,027	VC201T 0 施工 第0-0003号内訳表
端部製管工 (人力) 既設管径: φ 800mm以上 φ 1000mm未満 φ 800mm, φ 900mm ダンペ-工法積算 0 省略	8.3	m	14,572	120,947	VC2020 0 施工 第0-0005号内訳表
端部製管工 (人力) 既設管径: φ 1000mm以上 φ 1500mm以下 φ 1200mm ダンペ-工法積算 0 省略	3.0	m	16,388	49,164	VC20201 0 施工 第0-0008号内訳表
製管工 既設管径: φ 800mm以上 φ 1000mm未満 φ 800mm, φ 900mm ダンペ-工法積算 0 省略	105.69	m	6,192	654,432	VC2030 0 施工 第0-0009号内訳表
製管工 既設管径: φ 1000mm以上 φ 1500mm以下 φ 1200mm ダンペ-工法積算 0 省略	45.20	m	6,844	309,348	VC20301 0 施工 第0-0010号内訳表
端部緊張工 既設管径: φ 800mm以上 φ 2000mm以下 φ 800mm ダンペ-工法積算 0 省略	8	箇所	36,640	293,120	VC206 0 施工 第0-0011号内訳表
端部緊張工 既設管径: φ 800mm以上 φ 2000mm以下 φ 900mm ダンペ-工法積算 0 省略	2	箇所	37,190	74,380	VC2061 0 施工 第0-0012号内訳表
端部緊張工 既設管径: φ 800mm以上 φ 2000mm以下 φ 1200mm ダンペ-工法積算 0 省略	4	箇所	38,840	155,360	VC2062 0 施工 第0-0013号内訳表

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0017

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
充てん材注入工						YG000000024
			式		4,282,778	
充てん材注入工（管内注入方式） 既設管径：φ800mm以上2000mm以下 φ800mm ダンプ工法積算 0 省略	111.69	m	22,745	2,540,389	施工 第0-0014号内訳表	VC301 0
充てん材注入工（ホース牽引方式） 既設管径：φ800mm以上2000mm以下 φ900mm ダンプ工法積算 0 省略	2.30	m	16,845	38,743	施工 第0-0019号内訳表	VC3011 0
充てん材注入工（ホース牽引方式） 既設管径：φ800mm以上2000mm以下 φ1200mm ダンプ工法積算 0 省略	45.20	m	27,767	1,255,068	施工 第0-0020号内訳表	VC30110 0
充てん材スッパ工						VC302 0
φ800mm ダンプ工法積算 0 省略	8	箇所	3,624	28,992	施工 第0-0021号内訳表	
充てん材スッパ工						VC3021 0
φ900mm ダンプ工法積算 0 省略	2	箇所	2,571	5,142	施工 第0-0023号内訳表	
充てん材スッパ工						VC3022 0
φ1200mm ダンプ工法積算 0 省略	4	箇所	4,910	19,640	施工 第0-0024号内訳表	
管内注入口工 既設管径：φ800mm以上900mm以下						VC303 0
ダンプ工法積算 0 省略	89	箇所	4,436	394,804	施工 第0-0025号内訳表	
管口仕上工						YG000000034
0 省略			式		888,513	

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0018

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管口仕上工（本管） φ 800mm						VC401 0 01=1.7
ﾀﾞﾌﾞﾙｰ工法積算 0 省略	8		箇所	10,640	85,120	施工 第0-0026号内訳表
管口仕上工（本管） φ 900mm						VC401 0 01=0.9
ﾀﾞﾌﾞﾙｰ工法積算 0 省略	2		箇所	5,630	11,260	施工 第0-0028号内訳表
管口仕上工（本管） φ 1200mm						VC401 0 01=1.4
ﾀﾞﾌﾞﾙｰ工法積算 0 省略	4		箇所	8,758	35,032	施工 第0-0029号内訳表
管口仕上工（取付管） 取付管径 φ 200mm以下						VC101 0
ﾀﾞﾌﾞﾙｰ工法積算 0 省略	32		箇所	20,040	641,280	施工 第0-0030号内訳表
管口仕上工（取付管） 取付管径 φ 300mm						VC1011 0
見積歩掛 0 省略	3		箇所	27,833	83,499	施工 第0-0031号内訳表
管口仕上工（取付管） 取付管径 φ 350mm						VC1012 0
見積歩掛 0 省略	1		箇所	32,322	32,322	施工 第0-0032号内訳表
前処理工						YG000000045
			式		1,806,910	
止水工						YG000000046
			一式		1,806,910	
本管止水工（Y字管工法） 本管径800mm～1350mm 既設管径 φ 800mm 下水道施設維持管理積算要領2020年版 P135						VKD0040 0
0 省略	25.1		m	43,786	1,099,028	施工 第0-0033号内訳表

07-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0019

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本管止水工（Y字管工法） 本管径800mm～1350mm 既設管径φ900mm 下水道施設維持管理積算要領2020年版 P135 0 省略									VKD00401	0
	2.8	m	43,320	121,296	施工	第0-0038号内訳表				
本管止水工（Y字管工法） 本管径800mm～1350mm 既設管径φ1200mm 下水道施設維持管理積算要領2020年版 P135 0 省略									VKD00402	0
	11.3	m	42,266	477,605	施工	第0-0039号内訳表				
取付管口止水工（Y字管工法） 管口部 取付管径150mm 下水道施設維持管理積算要領2020年版 P135 0 省略									VKD00403	0
	2.8	m	38,922	108,981	施工	第0-0040号内訳表				
換気工									YG000000039	
				式	244,544					
換気設備工									VC501	0
	39.5	日	6,191	244,544	施工	第0-0041号内訳表				
交通管理工									YG000002001	
				式	2,445,165					
交通誘導警備員									YG000002002	
				一式	2,445,165					
交通誘導警備員A									SWB010211	0
	12.5	人日	18,670	233,375	施工	第0-0043号内訳表				
交通誘導警備員B									SWB010212	0
	133.0	人日	16,630	2,211,790	施工	第0-0044号内訳表				

07-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0020

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
直接工事費											
準備費								30,724,709		Z0003	
既設管洗浄・調査工					式			246,429		YZ000000009	
										05=解除する	
0 省略					式			237,143			
既設管洗浄工 既設管径: φ 800mm以上 φ 900mm以下										VC207	0
ダンプ・工法積算 0 省略		113.99		m		1,245		141,917		施工	第0-0045号内訳表
既設管洗浄工 既設管径: φ 1000mm以上 φ 1350mm以下										VC2071	0
ダンプ・工法積算 0 省略		45.20		m		934		42,216		施工	第0-0046号内訳表
既設管内調査工 既設管径: φ 800mm以上1500mm未満										VC801	0
ダンプ・工法積算 0 省略		159.19		m		333		53,010		施工	第0-0047号内訳表
換気工										YZ000000010	
										05=解除する	
0 省略					式			9,286			
換気設備工										VC501	0
ダンプ・工法積算 0 省略		1.5		日		6,191		9,286		施工	第0-0041号内訳表
共通仮設費 (A*(B*F*L) 率分)	対象額---A=30,724,709				地域補正率F=1.5000						
	率-----B=0.0711										
率参照額-C=30,937,339					休日補正率L=1.0200			3,342,000			

07-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0021

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
其通仮設費計						
					3,588,429	
純工事費						
					34,313,138	
現場管理費（ 率分）	A*(B*F*L)					
対象額---	A=34,313,138		地域補正率F=1.2000			
率-----	B=0.3019					
率参照額-C=	34,622,799		休日補正率L=1.0300		12,805,000	
現場管理費計						
					12,805,000	
工事原価						
					47,118,138	
工事原価計						
					47,118,138	
一般管理費等	A*(B*H)					
対象額---	A=47,118,138		前払補正率H=1.0000			
率-----	B=0.1870					
率参照額-C=	47,542,799				8,803,862	
契約保証費	A*B					
対象額---	A=47,118,138					
率-----	B=0.0004				18,000	
一般管理費等 計						
					8,821,862	

07-実施-下水-0001-当初

＊＊ 本工事費 ＊＊ 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
工事価格										
消費税相当額								55,940,000		
<div> <div>A*B</div> <div> <div>対象額---A=55,940,000</div> <div>率-----B=0.1000</div> </div> </div>										
								5,594,000		
工事費										
								61,534,000		

＊ ＊ 附帯工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0023

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
＊ ＊ 附帯工事費 ＊ ＊										X2000	
管路										YG0000000001	
										05=解除する	
	0 省略				式			212,630			
取付管										YG0000000002	
	0 省略				式			212,630			
取付管更生										YG0000000003	
	0 省略				式			134,700			
取付管更生工										YG0000000004	
	0 省略				一式			131,700			
取付管更生工法 L=1.4m φ 200mm 本管800mm以上 t=5.5mm FRP積算資料 光硬化工法協会 0 省略		1			箇所	131,700		131,700		VH10012 0	
取付管更生材運搬費										YG0000000005	
	0 省略				一式			3,000			
運搬費 φ 200mm L=5mまで 見積3,000円/本										FH10062 0	
	0 省略	1			本	3,000		3,000			
換気工										YG0000000024	
	0 省略				式			3,095			

07-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 附帯工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0024

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
換気工						YG0000000025
0 省略			一式		3,095	
換気設備工						VC501 0
ダクト工法積算 0 省略	0.5		口	6,191	3,095	施工 第0-0011号内訳表
交通管理工						YG000002001
0 省略			式		74,835	
交通誘導警備員						YG000002002
0 省略			一式		74,835	
交通誘導警備員B						SWB010212 0
0 省略	4.5		人日	16,630	74,835	施工 第0-0044号内訳表
直接工事費						
					212,630	
準備費						Z0003
			式		74,031	
前処理工						YG0000000002 05=解除する
0 省略			式		74,031	
支障物除去工						YG0000000003
0 省略			式		67,840	

07-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 附帯工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0025

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
モルタル除去工 既設管径φ800mm以上～1500mm未満 見積歩掛 0 省略	3		箇所		16,960		50,880		VK000002	0
取付管突出し処理工 既設管径φ800mm以上～1500mm未満 見積歩掛 0 省略	1		箇所		16,960		16,960		VK000001	0
換気工									YG0000000003	
換気設備工									VC501	0
ダクト工法積算 0 省略	1.0		H		6,191		6,191		施工	第0-0041号内訳表
共通仮設費 (A*(B*F*L) 率分) 対象額—A=212,630 率-----B=0.0711 率参照額-C=30,937,339				地域補正率F=1.5000						
				休日補正率L=1.0200			23,000			
共通仮設費計										
							97,031			
純工事費										
							309,661			
現場管理費 (A*(B*F*L) 率分) 対象額—A=309,661 率-----B=0.3019 率参照額-C=34,622,799				地域補正率F=1.2000						
				休日補正率L=1.0300			115,000			
現場管理費計										
							115,000			

07-実施-下水-0001-当初

＊ ＊ 附帯工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0026

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
工事原価											
									424,661		
工事原価計											
									424,661		
一般管理費等	A*(B*H)										
	対象額---A=424,661					前払補正率H=1.0000					
	率-----B=0.1870										
	率参照額-C=47,542,799								74,339		
契約保証費	A*B										
	対象額---A=424,661										
	率-----B=0.0004								1,000		
一般管理費等計											
									75,339		
工事価格											
									500,000		
消費税相当額	A*B										
	対象額---A=500,000										
	率-----B=0.1000								50,000		
工事費											
									550,000		

07-実施-下水-0001-当初

スパー取付工
既設管径：φ 800mm以上 φ 1000mm未満
φ 900mm
ダンパー工法積算資料R6年度版 I -27

VC200

施 工 内 訳 表

施工 第0-0001号内訳表

07年06月20日適用

頁0-0027

42 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
頂部スパー S型 厚2.3mm 幅570×長1200mm 見積14,200円/m	42	m	14,200	596,400	FDB10030 0 省略
土木一般世話役	1	人	28,560	28,560	RR0125 1 0 省略
トンネル特殊工	1	人	47,532	47,532	RR0119 1 0 省略
トンネル作業員	2	人	32,640	65,280	RR0120 1 0 省略
普通作業員	2	人	23,358	46,716	RR0102 1 0 省略
諸雑費（率＋まるめ）	10	%	188,088	18,712	#71 0 省略
計	42	m		803,200	
小計	1	m		19,123	

スパー取付工
既設管径：φ1000mm以上φ1500mm以下
φ1200mm
ダンパー工法積算資料R6年度版 I-27

VC201

施 工 内 訳 表

施工 第0-0002号内訳表

07年06月20日適用
頁0-0028
48 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
頂部スパー M型 厚2.3mm 幅590×長1200mm 見積15,500円/m	48	m	15,500	744,000	FDB1003 0 省略
土木一般世話役	1	人	28,560	28,560	RR0125 1 0 省略
トンネル特殊工	1	人	47,532	47,532	RR0119 1 0 省略
トンネル作業員	3	人	32,640	97,920	RR0120 1 0 省略
普通作業員	2	人	23,358	46,716	RR0102 1 0 省略
諸雑費（率＋まるめ）	10	%	220,728	22,072	#71 0 省略
計	48	m		986,800	
小計	1	m		20,558	

補強鉄筋設置工 既設管径 φ 800mm
主鉄筋SD295 D10 7.13kg/m
配力鉄筋SD295 D10 5.60kg/m
見積歩掛

VC201T

施 工 内 訳 表

施工 第0-0003号内訳表

07年06月20日適用

頁0-0029

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
補強鉄筋 主鉄筋D10 SD295 配力鉄筋D10 SD295	10.0	m	3,354	33,540	VC2001T 施工 第0-0004号内訳表 見積歩掛 0 省略
土木一般世話役	1.0	人	28,560	28,560	RR0125 1 0 省略
トンネル特殊工	1.0	人	47,532	47,532	RR0119 1 0 省略
トンネル作業員	2.0	人	32,640	65,280	RR0120 1 0 省略
普通作業員	2.0	人	23,358	46,716	RR0102 1 0 省略
諸雑費（率+まるめ）労務費の10%	10.0	%	188,088	18,772	#71 0 省略
計	10	m		240,400	
小計	1	m		24,040	

補強鉄筋
主鉄筋D10 SD295 配力鉄筋D10 SD295
見積歩掛

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
鉄筋コンクリート用棒鋼 SD295 D10	0.007	t	111,500	780	TZJ1102008 0 省略
鉄筋コンクリート用棒鋼 SD295 D10	0.006	t	111,500	669	TZJ1102008 0 省略
鉄筋加工費 見積150円/kg	12.7	kg	150	1,905	FC201 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	m		3,354	

端部製管工（人力）
既設管径：φ 800mm以上 φ 1000mm未満
φ 800mm, φ 900mm
ダンビ-工法積算資料R6年度版 I -29

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
土木一般世話役	1	人	28,560	28,560	RR0125 0 省略
トンネル特殊工	1	人	47,532	47,532	RR0119 0 省略
トンネル作業員	2	人	32,640	65,280	RR0120 0 省略
普通作業員	2	人	23,358	46,716	RR0102 0 省略
ストリップフィーダー損料 縦型回転方式 見積19,100円/日	1.0	日	19,100	19,100	FDB2002 0 省略
発動発電機運転工	1.0	日	10,490	10,490	VSK1510030 施工 第0-0006号内訳表 ダンビ-工法積算 0 省略
クレーン付トラック運転工 4t 2.9t吊	1.0	日	44,600	44,600	VSK0302013 施工 第0-0007号内訳表 ダンビ-工法積算 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		22	#80 0 省略
計	18	m		262,300	
小計	1	m		14,572	

VSK1510030 施 工 内 訳 表

施工 第0-0006号内訳表

ガンビ-工法積算資料R6年度版 I -31

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
軽油	49	1	149	7,301	TZJ6702002 0 省略
発動発電機[ディーゼルエンジン駆動] 60KVA	1.2	日	2,650	3,180	TLC1110011 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		9	#80 0 省略
小計	1	日		10,490	

クレーン付トラック運転工
4t 2.9t吊

07年06月20日適用

頁0-0033

VSK0302013 施 工 内 訳 表

施工 第0-0007号内訳表

ダンパー工法積算資料R6年度版 I-31

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
軽油	31	1	149	4,619	TZJ6702002 0 省略
運転手(特殊)	1.0	人	27,336	27,336	RR0114 0 省略
トラック[クレーン装置付] ベ-ストラック4~4.5t積 吊能力2.9t	5.8	時間	2,180	12,644	MMJ0302013 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		1	#80 0 省略
小計	1	日		44,600	

端部製管工（人力）
既設管径：φ1000mm以上φ1500mm以下
φ1200mm
ダンビ工法積算資料R6年度版 I-29

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
土木一般世話役	1	人	28,560	28,560	RR0125 0 省略
トンネル特殊工	1	人	47,532	47,532	RR0119 0 省略
トンネル作業員	3	人	32,640	97,920	RR0120 0 省略
普通作業員	2	人	23,358	46,716	RR0102 0 省略
ストリップフィーダー損料 縦型回転方式 見積19,100円/日	1.0	日	19,100	19,100	FDB2002 0 省略
発動発電機運転工	1.0	日	10,490	10,490	VSK1510030 施工 第0-0006号内訳表 ダンビ工法積算 0 省略
クレーン付トラック運転工 4t 2.9t吊	1.0	日	44,600	44,600	VSK0302013 施工 第0-0007号内訳表 ダンビ工法積算 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		82	#80 0 省略
計	18	m		295,000	
小計	1	m		16,388	

製管工
既設管径：φ 800mm以上 φ 1000mm未満
φ 800mm, φ 900mm
ダンビ-工法積算資料R6年度版 I-30

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
土木一般世話役	1	人	28,560	28,560	RR0125 0 省略
トンネル特殊工	1	人	47,532	47,532	RR0119 0 省略
トンネル作業員	2	人	32,640	65,280	RR0120 0 省略
普通作業員	2	人	23,358	46,716	RR0102 0 省略
製管機損料 エア-駆動 円形管用 φ 1350mm以下 見積45,500円/日	1.0	日	45,500	45,500	FDB2003 0 省略
ストリップフィーダー損料 縦型回転方式 見積19,100円/日	1.0	日	19,100	19,100	FDB2002 0 省略
空気圧縮機 吐出量1.4m3/min吐出圧力0.7MPa 可搬式・エンジン駆動・スクュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)運転日当り換算値(無積雪地(c1))	1.0	日	1,760	1,760	FDB2004 建設機械損料表 0 省略
発動発電機運転工	1.0	日	10,490	10,490	VSK1510030 施工 第0-0006号内訳表 ダンビ-工法積算 0 省略
クレーン付トラック運転工 4t 2.9t吊	1.0	日	44,600	44,600	VSK0302013 施工 第0-0007号内訳表 ダンビ-工法積算 0 省略
諸雑費 (まるめ)	1	式		62	#80 0 省略
計	50	m		309,600	
小計	1	m		6,192	

製管工
既設管径：φ 1000mm以上 φ 1500mm以下
φ 1200mm
ダンパー工法積算資料R6年度版 I -30

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
土木一般世話役	1	人	28,560	28,560	RR0125 0 省略
トンネル特殊工	1	人	47,532	47,532	RR0119 0 省略
トンネル作業員	3	人	32,640	97,920	RR0120 0 省略
普通作業員	2	人	23,358	46,716	RR0102 0 省略
製管機損料 エア駆動 円形管用 φ 1350mm以下 見積45,500円/日	1.0	日	45,500	45,500	FDB2003 0 省略
ストリップフィーダー損料 縦型回転方式 見積19,100円/日	1.0	日	19,100	19,100	FDB2002 0 省略
空気圧縮機 吐出量1.4m3/min吐出圧力0.7MPa 可搬式・エンジン駆動・スクュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)運転日当り換算値(無積雪地(c1))	1.0	日	1,760	1,760	FDB2004 建設機械損料表 0 省略
発動発電機運転工	1.0	日	10,490	10,490	VSK1510030 施工 第0-0006号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略
クレーン付トラック運転工 4t 2.9t吊	1.0	日	44,600	44,600	VSK0302013 施工 第0-0007号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略
諸雑費 (まるめ)	1	式		22	#80 0 省略
計	50	m		342,200	
小計	1	m		6,844	

端部緊張工
既設管径：φ 800mm以上 φ 2000mm以下
φ 800mm
ダンパー工法積算資料R6年度版 I -34

VC206

施 工 内 訳 表

07年06月20日適用
頁0-0037
施工 第0-0011号内訳表
1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
トンネル特殊工	0.2	人	47,532	9,506	RR0119 0 省略
トンネル作業員	0.4	人	32,640	13,056	RR0120 0 省略
普通作業員	0.2	人	23,358	4,671	RR0102 0 省略
緊張リング 損料 φ 800mm用 注入口金物共 見積9,400円/式	1	式	9,400	9,400	FDB2008 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		7	#80 0 省略
小計	1	箇所		36,640	

端部緊張工
既設管径：φ 800mm以上 φ 2000mm以下
φ 900mm
ダンパー工法積算資料R6年度版 I -34

VC2061

施 工 内 訳 表

07年06月20日適用
頁0-0038
施工 第0-0012号内訳表
1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
トンネル特殊工	0.2	人	47,532	9,506	RR0119 0 省略
トンネル作業員	0.4	人	32,640	13,056	RR0120 0 省略
普通作業員	0.2	人	23,358	4,671	RR0102 0 省略
緊張リング 損料 φ 900mm用 注入口金物共 見積9,950円/式	1	式	9,950	9,950	FDB2009 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		7	#80 0 省略
小計	1	箇所		37,190	

端部緊張工
既設管径：φ 800mm以上 φ 2000mm以下
φ 1200mm
ダンパー工法積算資料R6年度版 I -34

VC2062

施 工 内 訳 表

07年06月20日適用
頁0-0039
施工 第0-0013号内訳表
1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
トンネル特殊工	0.2	人	47,532	9,506	RR0119 0 省略
トンネル作業員	0.4	人	32,640	13,056	RR0120 0 省略
普通作業員	0.2	人	23,358	4,671	RR0102 0 省略
緊張リング 損料 φ 1200mm用 注入口金物共 見積11,600円/式	1	式	11,600	11,600	FDB2010 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		7	#80 0 省略
小計	1	箇所		38,840	

充てん材注入工（管内注入方式）
 既設管径：φ 800mm以上2000mm以下
 φ 800mm
 ダンビアー工法積算資料R6年度版 I -37

VC301

施 工 内 訳 表

施工 第0-0014号内訳表

07年06月20日適用

頁0-0040

59 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
充てん材 1 2号 DB2-1	3.09	m3	191,200	590,808	VC30101 施工 第0-0015号内訳表 ダンビアー工法積算 0 省略
充てん材 2 2号 DB2-2	1.11	m3	108,000	119,880	VC30102 施工 第0-0016号内訳表 ダンビアー工法積算 0 省略
土木一般世話役	1	人	28,560	28,560	RR0125 0 省略
トンネル特殊工	1	人	47,532	47,532	RR0119 0 省略
トンネル作業員	3	人	32,640	97,920	RR0120 0 省略
特殊作業員	2	人	28,152	56,304	RR0101 0 省略
普通作業員	2	人	23,358	46,716	RR0102 0 省略
充てん材注入ポンプ等損料① 高速ミキサー・アジテーター・注入ポンプ・給水ポンプ 見積123,000円/日	1.0	日	123,000	123,000	FDB3001 1 0 省略
注入ホース巻取り機損料 3/4B×2本×120m巻② 巻取速度:0.5～26m/min 1.5kW 見積35,800円/日	1.0	日	35,800	35,800	FDB3002 1 0 省略
注入ホース引込ウインチ損料 φ3～5 ワイヤ×120m巻③ 巻取速度:5～20m/min 0.75kW 見積763円/日	1.0	日	763	763	FDB3003 1 0 省略
注入ホース損料 先端混合ノズル共	50	%	159,563	79,781	#01 ①～③の50% 0 省略
発動発電機運転工	1.0	日	10,490	10,490	VSK1510030 施工 第0-0006号内訳表 ダンビアー工法積算 0 省略

充てん材注入工（管内注入方式）
 既設管径：φ 800mm以上2000mm以下
 φ 800mm
 ダンビ－工法積算資料R6年度版 I -37

VC301

施 工 内 訳 表

施工 第0-0014号内訳表

07年06月20日適用

頁0-0041

59 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
給水車運転工	1.0	日	42,220	42,220	VC20701 施工 第0-0017号内訳表 ダンビ－工法積算 0 省略
クレーン付トラック運転工 4t 2.9t吊	1.0	日	44,600	44,600	VSK0302013 施工 第0-0007号内訳表 ダンビ－工法積算 0 省略
トラック運転工 4t	1.0	日	17,160	17,160	VSK0302004 施工 第0-0018号内訳表 ダンビ－工法積算 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		466	#80 0 省略
計	59	m		1,342,000	
小計	1	m		22,745	

充てん材 1
2号 DB2-1

07年06月20日適用

頁0-0042

VC30101

施工内訳表

施工 第0-0015号内訳表

1

m3

当り

ダ`ビ`-工法積算資料R6年度版 I-38

[illegible]

07-实施-下水-0001-当初

充てん材 2
2号 DB2-2

07年06月20日適用

頁0-0043

VC30102 施 工 内 訳 表

施工 第0-0016号内訳表

ダンパー工法積算資料R6年度版 I-38

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
セメント(普通ポルトランド) 25kg袋入	1.2	t	26,000	31,200	TZJ2002006 0 省略
ダンパー工法 添加剤 DB2 添加剤 2号充てん材2 新潟市設計単価表 (別冊) P.16	40.0	kg	1,920	76,800	FDB3006 0 省略
水 (無代)	595.0	kg		0	FDB3007 0 省略
諸雑費 (まるめ)	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	m3		108,000	

VC20701 施 工 内 訳 表

施工 第0-0017号内訳表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
軽油	26	1	149	3,874	TZJ6702002 0 省略
運転手(一般)	1.0	人	24,786	24,786	RR0115 0 省略
散水車[トラック架装型] 3800L	6.0	時間	2,260	13,560	MMJ1108007 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	日		42,220	

トラック運転工
4t

ダンパー工法積算資料R6年度版 I -39

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
軽油	11	1	149	1,639	TZJ6702002 0 省略
運転手(一般)	0.5	人	24,786	12,393	RR0115 0 省略
トラック[普通型] 4~4.5t積	2.0	時間	1,560	3,120	MMJ0302004 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		8	#80 0 省略
小計	1	日		17,160	

充てん材注入工（ホース牽引方式）
 既設管径：φ 800mm以上2000mm以下
 φ 900mm
 ダンビアー工法積算資料R6年度版 I -37

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
充てん材 1 2号 DB2-1	1.73	m3	191,200	330,776	VC30101 施工 第0-0015号内訳表 ダンビアー工法積算 0 省略
充てん材 2 2号 DB2-2	2.47	m3	108,000	266,760	VC30102 施工 第0-0016号内訳表 ダンビアー工法積算 0 省略
土木一般世話役	1	人	28,560	28,560	RR0125 0 省略
トンネル特殊工	1	人	47,532	47,532	RR0119 0 省略
トンネル作業員	2	人	32,640	65,280	RR0120 0 省略
特殊作業員	2	人	28,152	56,304	RR0101 0 省略
普通作業員	2	人	23,358	46,716	RR0102 0 省略
充てん材注入ポンプ等損料① 高速ミキサー・アジテーター・注入ポンプ・給水ポンプ 見積123,000円/日	1.0	日	123,000	123,000	FDB3001 1 0 省略
注入ホース巻取り機損料 3/4B×2本×120m巻② 巻取速度:0.5～26m/min 1.5kW 見積35,800円/日	1.0	日	35,800	35,800	FDB3002 1 0 省略
注入ホース引込ワイヤー損料 φ3～5 ワイヤ×120m巻③ 巻取速度:5～20m/min 0.75kW 見積763円/日	1.0	日	763	763	FDB3003 1 0 省略
注入ホース損料 先端混合ノズル共	50	%	159,563	79,781	#01 ①～③の50% 0 省略
発動発電機運転工	1.0	日	10,490	10,490	VSK1510030 施工 第0-0006号内訳表 ダンビアー工法積算 0 省略

充てん材注入工（ホース牽引方式）
 既設管径：φ 800mm以上2000mm以下
 φ 900mm
 ダンビ－工法積算資料R6年度版 I -37

VC3011

施 工 内 訳 表

施工 第0-0019号内訳表

07年06月20日適用

頁0-0047

71 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
給水車運転工	1.0	日	42,220	42,220	VC20701 施工 第0-0017号内訳表 ダンビ－工法積算 0 省略
クレーン付トラック運転工 4t 2.9t吊	1.0	日	44,600	44,600	VSK0302013 施工 第0-0007号内訳表 ダンビ－工法積算 0 省略
トラック運転工 4t	1.0	日	17,160	17,160	VSK0302004 施工 第0-0018号内訳表 ダンビ－工法積算 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		258	#80 0 省略
計	71	m		1,196,000	
小計	1	m		16,845	

充てん材注入工（ホース牽引方式）
 既設管径：φ 800mm以上2000mm以下
 φ 1200mm
 ダンビアー工法積算資料R6年度版 I -37

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
充てん材 1 2号 DB2-1	1.70	m3	191,200	325,040	VC30101 施工 第0-0015号内訳表 ダンビアー工法積算 0 省略
充てん材 2 2号 DB2-2	2.50	m3	108,000	270,000	VC30102 施工 第0-0016号内訳表 ダンビアー工法積算 0 省略
土木一般世話役	1	人	28,560	28,560	RR0125 0 省略
トンネル特殊工	1	人	47,532	47,532	RR0119 0 省略
トンネル作業員	2	人	32,640	65,280	RR0120 0 省略
特殊作業員	2	人	28,152	56,304	RR0101 0 省略
普通作業員	2	人	23,358	46,716	RR0102 0 省略
充てん材注入プラント損料① 高速ミキサー・アジテーター・注入ポンプ・給水ポンプ 見積123,000円/日	1.0	日	123,000	123,000	FDB3001 1 0 省略
注入ホース巻取り機損料 3/4B×2本×120m巻② 巻取速度:0.5～26m/min 1.5kW 見積35,800円/日	1.0	日	35,800	35,800	FDB3002 1 0 省略
注入ホース引込ウィンチ損料 φ3～5 ワイヤ×120m巻③ 巻取速度:5～20m/min 0.75kW 見積763円/日	1.0	日	763	763	FDB3003 1 0 省略
注入ホース損料 先端混合ノズル共	50	%	159,563	79,781	#01 ①～③の50% 0 省略
発動発電機運転工	1.0	日	10,490	10,490	VSK1510030 施工 第0-0006号内訳表 ダンビアー工法積算 0 省略

充てん材注入工（ホース牽引方式）
 既設管径：φ 800mm以上2000mm以下
 φ 1200mm
 ダンビ－工法積算資料R6年度版 I -37

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
給水車運転工	1.0	日	42,220	42,220	VC20701 施工 第0-0017号内訳表 ダンビ－工法積算 0 省略
クレーン付トラック運転工 4t 2.9t吊	1.0	日	44,600	44,600	VSK0302013 施工 第0-0007号内訳表 ダンビ－工法積算 0 省略
トラック運転工 4t	1.0	日	17,160	17,160	VSK0302004 施工 第0-0018号内訳表 ダンビ－工法積算 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		754	#80 0 省略
計	43	m		1,194,000	
小計	1	m		27,767	

充てん材スッパ-工

φ800mm
ダンビ-工法積算資料R6年度版 I-39

VC302

施 工 内 訳 表

施工 第0-0021号内訳表

07年06月20日適用

頁0-0050

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
普通作業員	0.11	人	23,358	2,569	RR0102
急結モルタル工(配合1:2)	0.003	m3	351,900	1,055	0 省略 VC30201 施工 第0-0022号内訳表
諸雑費（まるめ）	1	式		0	ダンビ-工法積算 0 省略 #80 0 省略
小計	1	箇所		3,624	

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
止水セメント	620.0	kg	515	319,300	TZJ2005001 0 省略
コンクリート用骨材 砂(洗い) 荒目	0.48	m3	4,600	2,208	TZJ2104001 0 省略
水(無代)	310.0	kg		0	FDB3007 0 省略
普通作業員	1.3	人	23,358	30,365	RR0102 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		27	#80 0 省略
小計	1	m3		351,900	

充てん材スッパ-工

φ900mm
ダンビ-工法積算資料R6年度版 I-39

VC3021

施 工 内 訳 表

施工 第0-0023号内訳表

1 箇所 当り

07年06月20日適用

頁0-0052

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
普通作業員	0.08	人	23,358	1,868	RR0102 0 省略
急結モルタル工(配合1:2)	0.002	m3	351,900	703	VC30201 施工 第0-0022号内訳表 ダンビ-工法積算 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	箇所		2,571	

充てん材スッパ-工

φ1200mm
ダンビ-工法積算資料R6年度版 I-39

VC3022

施 工 内 訳 表

施工 第0-0024号内訳表

1 箇所 当り

07年06月20日適用
頁0-0053

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
普通作業員	0.15	人	23,358	3,503	RR0102
急結モルタル工(配合1:2)	0.004	m3	351,900	1,407	VC30201 0 省略 施工 第0-0022号内訳表
諸雑費（まるめ）	1	式		0	ダンビ-工法積算 0 省略 #80 0 省略
小計	1	箇所		4,910	

管内注入口工
既設管径：φ 800mm以上900mm以下

ダンパー工法積算資料R6年度版 I-40

VC303 施 工 内 訳 表 施工 第0-0025号内訳表

30 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
トンネル特殊工	1.0	人	47,532	47,532	RR0119 1 0 省略
トンネル作業員	1.0	人	32,640	32,640	RR0120 1 0 省略
管内注入口プラグ φ 36 見積1,500円/個	30	個	1,500	45,000	FDB3008 0 省略
諸雑費（率+まるめ） 穿孔機・工具等	10	%	80,172	7,928	#71 0 省略
計	30	箇所		133,100	
小計	1	箇所		4,436	

管口仕上工（本管）
φ 800mm

ダンビ工法積算資料R6年度版 I -41

VC401

施 工 内 訳 表

施工 第0-0026号内訳表

07年06月20日適用

頁0-0055

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
管口処理工	1.7	箇所	6,256	10,635	VC40101 施工 第0-0027号内訳表
諸雑費（まるめ）	1	式		5	ダンビ工法積算 0 省略 #80 0 省略
小計	1	箇所		10,640	
01=1.7 管口仕上げ材量（箇所）					

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
管口仕上げ材 耐酸性モルタル 見積521円/リツトル	6.0	リツトル	521	3,126	FDB401 0 省略
特殊作業員	1.0	人	28,152	28,152	RR0101 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		2	#80 0 省略
計	5	リツトル		31,280	
小計	1	リツトル		6,256	

管口仕上工（本管）
φ 900mm

07年06月20日適用

頁0-0057

VC401

施 工 内 訳 表

施工 第0-0028号内訳表

1

箇所 当り

ダンビ工法積算資料R6年度版 I -41

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
管口処理工	0.9	リツ	6,256	5,630	VC40101 施工 第0-0027号内訳表
諸雑費（まるめ）	1	式		0	ダンビ工法積算 0 省略 #80 0 省略
小計	1	箇所		5,630	
01=0.9 管口仕上げ材量（リツ）					

管口仕上工（本管）
φ1200mm

ダンパー工法積算資料R6年度版 I -41

VC401 施 工 内 訳 表

施工 第0-0029号内訳表

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
管口処理工	1.4	箇所	6,256	8,758	VC40101 施工 第0-0027号内訳表
諸雑費（まるめ）	1	式		0	ダンパー工法積算 0 省略 #80 0 省略
小計	1	箇所		8,758	
01=1.4 管口仕上げ材量（箇所）					

管口仕上工（取付管）
取付管径 φ 200mm以下

07年06月20日適用

頁0-0059

VC101

施 工 内 訳 表

施工 第0-0030号内訳表

5

箇所 当り

ダンパー工法積算資料R6年度版 I-51

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
エポキシコーキング材	2.0	リットル	3,696	7,392	FDB4001
見積3,696円/リットル					0 省略
特殊作業員	3.0	人	28,152	84,456	RR0101 1
					0 省略
諸雑費（率+まるめ）	10	%	84,456	8,352	#71
					0 省略
計	5	箇所		100,200	
小計	1	箇所		20,040	

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
エポキシコーキング材	2.0	リットル	3,696	7,392	FDB4001 0 省略
見積3,696円/リットル 特殊作業員	3.0	人	28,152	84,456	RR0101 1 0 省略
諸雑費（率+まるめ）	10	%	84,456	8,352	#71 労務費の10% 0 省略
計	3.6	箇所		100,200	
小計	1	箇所		27,833	

管口仕上工（取付管）
取付管径 φ 350mm

VC1012 施 工 内 訳 表

施工 第0-0032号内訳表

見積歩掛 3.1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
エポキシコーキング材	2.0	リットル	3,696	7,392	FDB4001
見積3,696円/リットル					0 省略
特殊作業員	3.0	人	28,152	84,456	RR0101 1
					0 省略
諸雑費（率+まるめ）	10	%	84,456	8,352	#71
					労務費の10% 0 省略
計	3.1	箇所		100,200	
小計	1	箇所		32,322	

本管止水工（Y字管工法）
本管径800mm～1350mm 既設管径 φ 800mm
下水道施設維持管理積算要領2020年版 P135

VKD0040

施 工 内 訳 表

施工 第0-0033号内訳表

07年06月20日適用

頁0-0062

15 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 雑 材 料 区 分 ・ 管 理 費 区 分
止水工（Y字管工法） 下水道施設維持管理積算要領2020年版 P135	1	日	350,600	350,600	VK0041 施工 第0-0034号内訳表 0 省略
止水材（注入材） 無機系懸濁液型材料 見積220円/リットル	1,098	リットル	220	241,560	FK4002 1 0 省略
止水セメント	78.5	kg	515	40,427	TZJ2005001 0 省略
消耗品	10	%	241,560	24,156	#01 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		57	#80 0 省略
計	15	m		656,800	
小計	1	m		43,786	

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
特殊作業員	1.00	人	28,152	28,152	RR0101 0 省略
普通作業員	2.00	人	23,358	46,716	RR0102 0 省略
はつり工	1.00	人	30,192	30,192	RR0137 0 省略
左官	1.00	人	30,294	30,294	RR0135 0 省略
補修ﾌﾟﾚﾝﾄ車運転工 100kW 3t 下水道施設維持管理積算要領2020年版 P129	1.00	日	152,000	152,000	VK4111 施工 第0-0035号内訳表 0 省略
給水車運転工 132kW 4t 下水道施設維持管理積算要領2020年版 P114	1.00	日	58,060	58,060	VK1026 施工 第0-0036号内訳表 0 省略
ﾄﾗｯｸ運転工 98kW 2t 下水道施設維持管理積算要領2020年版 P108	1.00	日	4,682	4,682	VK4006 施工 第0-0037号内訳表 0 省略
電動ﾊﾏﾄﾞﾘﾙ 穴あけ能力 φ38~40mm	1.00	日	416	416	MMJ2083002 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		88	#80 0 省略
小計	1	日		350,600	

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
軽油	25.80	1	149	3,844	TZJ6702002 0 省略
土木一般世話役	1	人	28,560	28,560	RR0125 0 省略
特殊作業員	2	人	28,152	56,304	RR0101 0 省略
普通作業員	1	人	23,358	23,358	RR0102 0 省略
補修プラント車損料 100kw 3t 単価・歩掛算出明細書参照	6	時間	6,640	39,840	F2025012 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		94	#80 0 省略
小計	1	日		152,000	

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
軽油	34.8	1	149	5,185	TZJ6702002 0 省略
運転手(一般)	1	人	24,786	24,786	RR0115 0 省略
給水車損料 132kw 4t 単価・歩掛算出明細書参照	6	時間	4,680	28,080	F2024006 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		9	#80 0 省略
小計	1	日		58,060	

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
軽油	12.60	1	149	1,877	TZJ6702002 0 省略
トラック[普通型] 2t積	3	時間	935	2,805	MMJ0302002 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	日		4,682	

本管止水工（Y字管工法）
本管径800mm～1350mm 既設管径 φ 900mm
下水道施設維持管理積算要領2020年版 P135

VKD00401

施 工 内 訳 表

施工 第0-0038号内訳表

07年06月20日適用

頁0-0067

15 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 雑 材 料 区 分 ・ 管 理 費 区 分
止水工（Y字管工法） 下水道施設維持管理積算要領2020年版 P135	1	日	350,600	350,600	VK0041 施工 第0-0034号内訳表 0 省略
止水材（注入材） 無機系懸濁液型材料 見積220円/リットル	1,069	リットル	220	235,180	FK4002 1 0 省略
止水セメント	78.5	kg	515	40,427	TZJ2005001 0 省略
消耗品	10	%	235,180	23,518	#01 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		75	#80 0 省略
計	15	m		649,800	
小計	1	m		43,320	

本管止水工（Y字管工法）
本管径800mm～1350mm 既設管径 φ 1200mm
下水道施設維持管理積算要領2020年版 P135

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 雑 材 料 区 分 ・ 管 理 費 区 分
止水工（Y字管工法） 下水道施設維持管理積算要領2020年版 P135	1	日	350,600	350,600	VK0041 施工 第0-0034号内訳表 0 省略
止水材（注入材） 無機系懸濁液型材料 見積220円/リットル	1,004	リットル	220	220,880	FK4002 1 0 省略
止水セメント	78.5	kg	515	40,427	TZJ2005001 0 省略
消耗品	10	%	220,880	22,088	#01 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		5	#80 0 省略
計	15	m		634,000	
小計	1	m		42,266	

取付管口止水工（Y字管工法）
管口部 取付管径150mm
下水道施設維持管理積算要領2020年版 P135

VKD00403

施 工 内 訳 表

施工 第0-0040号内訳表

07年06月20日適用
頁0-0069
18 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 雑 材 料 区 分 ・ 管 理 費 区 分
止水工（Y字管工法） 下水道施設維持管理積算要領2020年版 P135	1	日	350,600	350,600	VK0041 施工 第0-0034号内訳表 0 省略
止水材（注入材） 無機系懸濁液型材料 見積220円/リットル	1,326	リットル	220	291,720	FK4002 1 0 省略
止水セメント	56.5	kg	515	29,097	TZJ2005001 0 省略
消耗品	10	%	291,720	29,172	#01 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		11	#80 0 省略
計	18	m		700,600	
小計	1	m		38,922	

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
軸流ファン[軸流式・定風量型] 50/60m3/min	2.0	日	140	280	MMJ1204001 1 0 省略
発動発電機運転工 3kVA	2.0	日	2,624	5,248	VC50101 1 施工 第0-0042号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略
諸雑費（率+まるめ） ガス検知器等	12	%	5,528	663	#71 0 省略
小計	1	日		6,191	

発動発電機運転工
3kVA

ガンビ-工法積算資料R6年度版 I-42

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
ガソリン レギュラー	12	1	159	1,908	TZJ6704001 0 省略
発動発電機[ガソリンエンジン駆動] 3KVA	1.2	日	597	716	TLC1110002 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	日		2,624	

SWB010211 施 工 内 訳 表

施工 第0-0043号内訳表

1 人日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
交通誘導警備員A	1.000	人	18,666	18,666	RR0803 1 0 省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式		4	#80 0 省略
小計	1	人日		18,670	

SWB010212 施 工 内 訳 表

施工 第0-0044号内訳表

1 人日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
交通誘導警備員B	1.000	人	16,626	16,626	RR0804 1 0 省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式		4	#80 0 省略
小計	1	人日		16,630	

既設管洗淨工
既設管径：φ 800mm以上 φ 900mm以下

07年06月20日適用
頁0-0074

ダンプ-工法積算資料R6年度版 I -35

VC207 施 工 内 訳 表 施工 第0-0045号内訳表

150 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
土木一般世話役	1.0	人	28,560	28,560	RR0125 0 省略
トンネル特殊工	1.0	人	47,532	47,532	RR0119 0 省略
トンネル作業員	1.0	人	32,640	32,640	RR0120 0 省略
普通作業員	1.0	人	23,358	23,358	RR0102 0 省略
高压洗淨機[工事用・モータ駆動] 吐出量30.8ℓ/min 圧力7.8MPa 運転日当たり換算値(無積雪地(c1))	1.0	日	1,960	1,960	FDB2006 建設機械損料表 0 省略
発動発電機運転工	1.0	日	10,490	10,490	VSK1510030 施工 第0-0006号内訳表 ダンプ-工法積算 0 省略
給水車運転工	1.0	日	42,220	42,220	VC20701 施工 第0-0017号内訳表 ダンプ-工法積算 0 省略
洗淨水 (無代)	5.0	m3		0	FDB2007 0 省略
諸雑費 (まるめ)	1	式		40	#80 0 省略
計	150	m		186,800	
小計	1	m		1,245	

既設管洗浄工
既設管径：φ 1000mm以上 φ 1350mm以下

07年06月20日適用
頁0-0075

ダンビ-工法積算資料R6年度版 I -35
VC2071 施 工 内 訳 表 施工 第0-0046号内訳表 200 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
土木一般世話役	1.0	人	28,560	28,560	RR0125 0 省略
トンネル特殊工	1.0	人	47,532	47,532	RR0119 0 省略
トンネル作業員	1.0	人	32,640	32,640	RR0120 0 省略
普通作業員	1.0	人	23,358	23,358	RR0102 0 省略
高压洗浄機[工事用・モータ駆動] 吐出量30.8ℓ/min 圧力7.8MPa 運転日当たり換算値(無積雪地(c1))	1.0	日	1,960	1,960	FDB2006 建設機械損料表 0 省略
発動発電機運転工	1.0	日	10,490	10,490	VSK1510030 施工 第0-0006号内訳表 ダンビ-工法積算 0 省略
給水車運転工	1.0	日	42,220	42,220	VC20701 施工 第0-0017号内訳表 ダンビ-工法積算 0 省略
洗浄水 (無代)	5.0	m3		0	FDB2007 0 省略
諸雑費 (まるめ)	1	式		40	#80 0 省略
計	200	m		186,800	
小計	1	m		934	

既設管内調査工
既設管径：φ 800mm以上1500mm未満

07年06月20日適用
頁0-0076

ダンパー工法積算資料R6年度版 I -48

VC801 施 工 内 訳 表 施工 第0-0047号内訳表

500 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
測量技師 管路調査技師	1.0	人	52,300	52,300	RR0603 0 省略
測量技師補 管路調査助手	1.0	人	41,100	41,100	RR0604 0 省略
普通作業員 管路調査作業員	3.0	人	23,358	70,074	RR0102 0 省略
ライトバン運転工 1500cc	1.0	日	3,241	3,241	VSK2022001 施工 第0-0048号内訳表 ダンパー工法積算 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		85	#80 0 省略
計	500	m		166,800	
小計	1	m		333	

ライトバン運転工
1500cc

ダンビラー工法積算資料R6年度版 I-48

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
ガソリン レギュラー	8.1	1	159	1,287	TZ304010050 0 省略
ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	3.6	時間	543	1,954	MMJ2022001 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	日		3,241	

取付管更生工法 L=1.4m
φ 200mm 本管800mm以上
t=5.5mm FRP積算資料
光硬化工法協会 2022. 9. 500版 P35

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
取付管更生材料 φ 200mm t=5.5mm (自立管) 見積41,900円/m	1.7	m	41,900	71,230	FHI00122 0 省略
取付管更生工 施工延長5.0m以下 FRP積算資料 光硬化工法協会 2022. 9. 500版	1.0	箇所	45,950	45,950	VHI0081 施工 第0-0050号内訳表 P36 A-2 0 省略
本管管口処理工 φ 800mm以上 FRP積算資料 光硬化工法協会 2022. 9. 500版	1.0	箇所	13,350	13,350	VHI009 施工 第0-0056号内訳表 P37 A-3 0 省略
ます管口処理工 FRP積算資料 光硬化工法協会 2022. 9. 500版 P40 B-7	1.0	箇所	1,115	1,115	VHI010 施工 第0-0057号内訳表 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		55	#80 0 省略
小計	1	箇所		131,700	

取付管更生工
施工延長5.0m以下
FRP積算資料 光硬化工法協会 2022.9.500版
P36 A-2

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
土木一般世話役 管理技師	1.0	人	28,560	28,560	RR0125 0 省略
特殊作業員 補修技師	1.0	人	28,152	28,152	RR0101 0 省略
普通作業員	1.0	人	23,358	23,358	RR0102 0 省略
運転手(特殊)	1.0	人	27,336	27,336	RR0114 0 省略
施工機運転工 FRP積算資料 光硬化工法協会 2022.9.500版 P39 B-3	1.0	日	46,230	46,230	VHI003 施工 第0-0051号内訳表 0 省略
取付管用TVカメラ損料 見積994円/時間	2.0	時間	994	1,988	FTORI001 0 省略
発電機運転工 4kW 5.4PS FRP積算資料 光硬化工法協会 2022.9.500版	1.0	日	2,454	2,454	VHI004 施工 第0-0052号内訳表 P40 B-4 0 省略
空気圧縮機運転工 19kW 26PS FRP積算資料 光硬化工法協会 2022.9.500版	1.0	日	5,905	5,905	VHI005 施工 第0-0053号内訳表 P40 B-5 0 省略
高圧洗浄車運転工 4t 154kW 210PS FRP積算資料 光硬化工法協会 2022.9.500版	1.0	日	19,530	19,530	VHI006 施工 第0-0054号内訳表 P40 B-6 0 省略
水替工(取付管側) FRP積算資料 光硬化工法協会 2022.9.500版 P41 B-11	1.0	日	249	249	VHI007 施工 第0-0055号内訳表 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		38	#80 0 省略
計	4	箇所		183,800	

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
小計	1	箇所		45,950	

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
補修機損料 ライニング用機器(光硬化) 見積35,600円/日	1.0	日	35,600	35,600	FHI002 1 0 省略
消耗機材費(UVランプ類他)	20.0	%	35,600	7,120	#01 2 0 省略
油脂類	2.0	%	7,120	142	#02 0 省略
トラック[普通型] 2t積	2.0	時間	935	1,870	MMJ0302002 0 省略
軽油	10.0	1	149	1,490	TZJ6702002 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		8	#80 0 省略
小計	1	日		46,230	

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
発動発電機[ガソリンエンジン駆動] 3kVA	1.0	日	737	737	MMJ1510003 0 省略
ガソリン レギュラー	10.8	l	159	1,717	TZJ6704001 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	日		2,454	

空気圧縮機運転工
19kW 26PS
FRP積算資料 光硬化工法協会 2022. 9. 500版
P40 B-5

VHI005

施 工 内 訳 表

施工 第0-0053号内訳表

07年06月20日適用

頁0-0083

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュー〕 排出ガス対策型(第1次基準)2.5m3/min	1.0	日	2,240	2,240	MMJ1201049 0 省略
軽油	24.6	l	149	3,665	TZJ6702002 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	日		5,905	

4t 154kW 210PS

FRP積算資料 光硬化工法協会 2022.9.500版

P40 B-6

07年06月20日適用

頁0-0084

VHI006

施工内訳表

施工 第0-0054号内訳表

1 日 当り

[illegible]

07-实施-下水-0001-当初

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
止水プラグ（円形管）損料 取付管用 見積249円/日	1.0	日	249	249	FSISU001 0 省略
諸雑費（まるめ）	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	日		249	

本管管口処理工
φ 800mm以上
FRP積算資料 光硬化工法協会 2022. 9. 500版
P37 A-3

VHI009

施 工 内 訳 表

施工 第0-0056号内訳表

07年06月20日適用
頁0-0086
10 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 雑 材 料 区 分 ・ 管 理 費 区 分
土木一般世話役 管理技師	1.0	人	28,560	28,560	RR0125 0 省略
特殊作業員 補修技師	1.0	人	28,152	28,152	RR0101 0 省略
普通作業員	1.0	人	23,358	23,358	RR0102 0 省略
運転手(特殊)	1.0	人	27,336	27,336	RR0114 0 省略
本管口切断機損料 グラインダー 見積500円/箇所	10.0	箇所	500	5,000	FHI004 1 0 省略
高压洗浄車運転工 4t 154kW 210PS FRP積算資料 光硬化工法協会 2022. 9. 500版	1.0	日	19,530	19,530	VHI006 施工 第0-0054号内訳表 P40 B-6 0 省略
消耗材料費	20	%	5,000	1,000	#01 0 省略
止水セメント	1.0	kg	515	515	TZJ2005001 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		49	#80 0 省略
計	10	箇所		133,500	
小計	1	箇所		13,350	

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
柵管口切断機損料 ディスクカッター 見積500円/箇所	1	箇所	500	500	FHI003 1 0 省略
消耗材料費	20.0	%	500	100	#01 0 省略
止水セメント	1.0	kg	515	515	TZJ2005001 0 省略
諸雑費(まるめ)	1	式		0	#80 0 省略
小計	1	箇所		1,115	

モルタル除去工
既設管径 φ 800mm以上～1500mm未満
見積歩掛

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
土木一般世話役 見積 1.0人	1	人	28,560	28,560	RR0125 1 0 省略
トシ特殊工 見積 1.0人	1	人	47,532	47,532	RR0119 1 0 省略
トシ作業員 見積 2.0人	2	人	32,640	65,280	RR0120 1 0 省略
諸雑費（率＋まるめ）	20	%	141,372	28,228	#71 労務費の20% 0 省略
計	10	箇所		169,600	
小計	1	箇所		16,960	

取付管突出し処理工
既設管径 φ 800mm以上～1500mm未満
見積歩掛

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
土木一般世話役 見積 1.0人	1	人	28,560	28,560	RR0125 1 0 省略
トシ特殊工 見積 1.0人	1	人	47,532	47,532	RR0119 1 0 省略
トシ作業員 見積 2.0人	2	人	32,640	65,280	RR0120 1 0 省略
諸雑費（率＋まるめ）	20	%	141,372	28,228	#71 労務費の20% 0 省略
計	10	箇所		169,600	
小計	1	箇所		16,960	

登録単価一覧表

頁0-0090

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価 世代 (0. 4. 8)	単価 世代 (1. 5. 9)	単価 世代 (2. 6)	単価 世代 (3. 7)	特殊集計 集計区分
F00000001	*****ダンビ工法*****						571
FDB1001	ダンビ工法 ストリップ S形 幅255mm 厚12.5mm 新潟市設計単価表 (別冊) P. 16	m	8,390				571
FDB1002	ダンビ工法 SFジョイナー S形 幅35mm 新潟市設計単価表 (別冊) P. 16	m	1,930				571
FDB10030	頂部スパーサー S型 厚2.3mm 幅570×長1200mm 見積14,200円/m	m	14,200				571
FDB1003	頂部スパーサー M型 厚2.3mm 幅590×長1200mm 見積15,500円/m	m	15,500				571
FC201	鉄筋加工費 見積150円/kg	kg	150				571
FDB2002	ストリップフィーダー損料 縦型回転方式 見積19,100円/日	日	19,100				571
FDB2003	製管機損料 エア駆動 円形管用 φ1350mm以下 見積45,500円/日	日	45,500				571
FDB2004	空気圧縮機 吐出量1.4m3/min吐出圧力0.7MPa 可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)運転日当り換算値(無積雪地(c1))	日	1,760				571
FDB2008	緊張リング損料 φ800mm用 注入口金物共 見積9,400円/式	式	9,400				571
FDB2009	緊張リング損料 φ900mm用 注入口金物共 見積9,950円/式	式	9,950				571
FDB2010	緊張リング損料 φ1200mm用 注入口金物共 見積11,600円/式	式	11,600				571

07-実施-下水-0001-当初

登録単価一覧表

頁0-0091

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価 世代 (0. 4. 8)	単価 世代 (1. 5. 9)	単価 世代 (2. 6)	単価 世代 (3. 7)	特殊集計 集計区分
FDB2006	高压洗浄機[工事用・モータ駆動] 吐出量30.8ℓ/min 圧力7.8MPa 運転日当たり換算値(無積雪地(c1))	日	1,960				571
FDB2007	洗浄水 (無代)	m3	0				571
FDB3001	充てん材注入プラント損料① 高速ミキサー・アジテーター・注入ポンプ・給水ポンプ 見積123,000円/日	日	123,000				571
FDB3002	注入ホース巻取り機損料 3/4B×2本×120m巻② 巻取速度:0.5~26m/min 1.5kW 見積35,800円/日	日	35,800				571
FDB3003	注入ホース引込ワイヤ損料 φ3~5 ワイヤ×120m巻③ 巻取速度:5~20m/min 0.75kW 見積763円/日	日	763				571
FDB3004	ダンビ工法 混和剤 DB2 混和剤 2号充てん材1 新潟市設計単価表 (別冊) P. 16	kg	190				571
FDB3005	ダンビ工法 硬化材 DB2 硬化材 2号充てん材1 新潟市設計単価表 (別冊) P. 16	kg	560				571
FDB3006	ダンビ工法 添加剤 DB2 添加剤 2号充てん材2 新潟市設計単価表 (別冊) P. 16	kg	1,920				571
FDB3007	水 (無代)	kg	0				571
FDB3008	管内注入口プラグ φ36 見積1,500円/個	個	1,500				571
FDB401	管口仕上げ材 耐酸性モルタル 見積521円/ℓ	ℓ	521				571
FDB4001	エポキシコーキング材 見積3,696円/ℓ	ℓ	3,696				571

07-実施-下水-0001-当初

登録単価一覧表

頁0-0092

コード	名称・規格１・規格２	単位	単価 世代（0. 4. 8）	単価 世代（1. 5. 9）	単価 世代（2. 6）	単価 世代（3. 7）	特殊集計区分
F0000000001	●●●●●●●●●●●●●●●●●止水工 下水道施設維持管理積算要領－管路施設編－ 2020年版 公益社団法人日本下水道協会						571
FK4002	止水材（注入材） 無機系懸濁液型材料 見積220円/リットル	リットル	220				571
F2024006	給水車損料 132kw 4t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	4,680				571
F2025012	補修プラント車損料 100kw 3t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	6,640				571
FSISU001	止水プラグ（円形管）損料 取付管用 見積249円/日	日	249				571
F0000000004	●●●●●●●●●●●●●●●●●取付管更生工						571
FHI00122	取付管更生材料 φ200mm t=5.5mm（自立管） 見積41,900円/m	m	41,900				571
FHI0062	運搬費 φ200mm L=5mまで 見積3,000円/本	本	3,000				571
FHI002	補修機損料 ライニング用機器（光硬化） 見積35,600円/日	日	35,600				571
FHI003	桷管口切断機損料 ディスクカッター 見積500円/箇所	箇所	500				571
FHI004	本管口切断機損料 グラインダー 見積500円/箇所	箇所	500				571
F0000000002	下水道管路管理積算資料－2023－ 公益社団法人 日本下水道管路管理業協会 ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★						571

07-实施-下水-0001-当初

登録単価一覧表

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価 世代 (0. 4. 8)	単価 世代 (1. 5. 9)	単価 世代 (2. 6)	単価 世代 (3. 7)	特殊集計 集計区分
F2024023	高压洗浄車損料 154kw 4t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	8,840				571
FTORI001	取付管用TVカメラ損料 見積994円/時間	時間	994				571

単 価 入 力 デ ー タ 一 覧 表 ①

頁0-0094

上 位 コード	上 位 名 称	第 番 号	単 価 コード	単 価 名 称 規 格 1,規 格 2,摘 要 名 称	単 位	金 額
YG000000004	ストリップ管		FDB1001	ダンベル工法 ストリップ S形 幅255mm 厚12.5mm 新潟市設計単価表 (別冊) P.16	m	8,390
YG000000004	ストリップ管		FDB1002	ダンベル工法 SFジョイナー S形 幅35mm 新潟市設計単価表 (別冊) P.16	m	1,930
YG000000005	取付管更生材運搬費		FHI0062	運搬費 φ200mm L=5mまで 見積3,000円/本	本	3,000
VC200	スパーサー取付工	第0-0001号	FDB10030	頂部スパーサー S型 厚2.3mm 幅570×長1200mm 見積14,200円/m	m	14,200
VC201	スパーサー取付工	第0-0002号	FDB1003	頂部スパーサー M型 厚2.3mm 幅590×長1200mm 見積15,500円/m	m	15,500
VC201T	補強鉄筋設置工 既設管径 φ800mm	第0-0003号	FC201	鉄筋加工費 見積150円/kg	kg	150
VC2020	端部製管工 (人力)	第0-0005号	FDB2002	ストリップフィーダー損料 縦型回転方式 見積19,100円/日	日	19,100
VC20201	端部製管工 (人力)	第0-0008号	FDB2002	ストリップフィーダー損料 縦型回転方式 見積19,100円/日	日	19,100
VC2030	製管工	第0-0009号	FDB2003	製管機損料 エア駆動 円形管用 φ1350mm以下 見積45,500円/日	日	45,500

単価入力データ一覧表①

頁0-0095

上位 コード	上位名称	第番号	単 価 コード	単価名称 規格 1,規格 2,摘要名称	単 位	金 額
VC2030	製管工	第0-0009号	FDB2002	ストリップフィーダー損料 縦型回転方式 見積19,100円/日	日	19,100
VC2030	製管工	第0-0009号	FDB2004	空気圧縮機 吐出量1.4m3/min吐出圧力0.7MPa 可搬式・エンジン駆動・スクュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)運転日当り換算値(無積雪地(c1)) 建設機械損料表	日	1,760
VC20301	製管工	第0-0010号	FDB2003	製管機損料 エア駆動 円形管用 φ1350mm以下 見積45,500円/日	日	45,500
VC20301	製管工	第0-0010号	FDB2002	ストリップフィーダー損料 縦型回転方式 見積19,100円/日	日	19,100
VC20301	製管工	第0-0010号	FDB2004	空気圧縮機 吐出量1.4m3/min吐出圧力0.7MPa 可搬式・エンジン駆動・スクュ型・排出ガス対策型(第1次基準値)運転日当り換算値(無積雪地(c1)) 建設機械損料表	日	1,760
VC206	端部緊張工	第0-0011号	FDB2008	緊張リグ 損料 φ800mm用 注入口金物共 見積9,400円/式	式	9,400
VC2061	端部緊張工	第0-0012号	FDB2009	緊張リグ 損料 φ900mm用 注入口金物共 見積9,950円/式	式	9,950
VC2062	端部緊張工	第0-0013号	FDB2010	緊張リグ 損料 φ1200mm用 注入口金物共 見積11,600円/式	式	11,600
VC301	充てん材注入工 (管内注入方式)	第0-0014号	FDB3004	タンバー工法 混和剤 DB2 混和剤 2号充てん材1 新潟市設計単価表 (別冊) P.16	kg	190

単 価 入 力 デ ー タ 一 覧 表 ①

頁0-0096

上 位 コード	上 位 名 称	第 番 号	単 価 コード	単 価 名 称 規 格 1,規 格 2,摘 要 名 称	単 位	金 額
VC301	充てん材注入工（管内注入方式）	第0-0014号	FDB3005	ﾀﾝﾋﾞｰ工法 硬化材 DB2 硬化材 2号充てん材1 新潟市設計単価表（別冊）P.16	kg	560
VC301	充てん材注入工（管内注入方式）	第0-0014号	FDB3007	水（無代）	kg	0
VC301	充てん材注入工（管内注入方式）	第0-0014号	FDB3006	ﾀﾝﾋﾞｰ工法 添加剤 DB2 添加剤 2号充てん材2 新潟市設計単価表（別冊）P.16	kg	1,920
VC301	充てん材注入工（管内注入方式）	第0-0014号	FDB3007	水（無代）	kg	0
VC301	充てん材注入工（管内注入方式）	第0-0014号	FDB3001	充てん材注入ﾌﾟﾗﾝﾄ損料① 高速ﾐｷｻｰ・ｱｼﾞﾃｰﾀｰ・注入ﾎﾟﾝﾌﾟ・給水ﾎﾟﾝﾌﾟ 見積123,000円/日	日	123,000
VC301	充てん材注入工（管内注入方式）	第0-0014号	FDB3002	注入ﾎｰｽ巻取り機損料 3/4B×2本×120m巻② 巻取速度:0.5～26m/min 1.5kW 見積35,800円/日	日	35,800
VC301	充てん材注入工（管内注入方式）	第0-0014号	FDB3003	注入ﾎｰｽ引込ｳｲﾝﾁ損料 φ3～5 ｳｵｲｰﾙ×120m巻③ 巻取速度:5～20m/min 0.75kW 見積763円/日	日	763
VC3011	充てん材注入工（ホース牽引方式）	第0-0019号	FDB3004	ﾀﾝﾋﾞｰ工法 混和剤 DB2 混和剤 2号充てん材1 新潟市設計単価表（別冊）P.16	kg	190
VC3011	充てん材注入工（ホース牽引方式）	第0-0019号	FDB3005	ﾀﾝﾋﾞｰ工法 硬化材 DB2 硬化材 2号充てん材1 新潟市設計単価表（別冊）P.16	kg	560

単価入力データ一覧表①

頁0-0097

上位 コード	上位名称	第番号	単 価 コード	単価名称 規格 1, 規格 2, 摘要名称	単 位	金 額
VC3011	充てん材注入工（ホース牽引方式）	第0-0019号	FDB3007	水（無代）	kg	0
VC3011	充てん材注入工（ホース牽引方式）	第0-0019号	FDB3006	ダンパー工法 添加剤 DB2 添加剤 2号充てん材2 新潟市設計単価表（別冊）P. 16	kg	1,920
VC3011	充てん材注入工（ホース牽引方式）	第0-0019号	FDB3007	水（無代）	kg	0
VC3011	充てん材注入工（ホース牽引方式）	第0-0019号	FDB3001	充てん材注入プラント損料① 高速ミキサー・アジテーター・注入ポンプ・給水ポンプ 見積123,000円/日	日	123,000
VC3011	充てん材注入工（ホース牽引方式）	第0-0019号	FDB3002	注入ホース巻取り機損料 3/4B×2本×120m巻② 巻取速度:0.5～26m/min 1.5kW 見積35,800円/日	日	35,800
VC3011	充てん材注入工（ホース牽引方式）	第0-0019号	FDB3003	注入ホース引込クインチ損料 φ3～5 ワイヤ×120m巻③ 巻取速度:5～20m/min 0.75kW 見積763円/日	日	763
VC30110	充てん材注入工（ホース牽引方式）	第0-0020号	FDB3004	ダンパー工法 混和剤 DB2 混和剤 2号充てん材1 新潟市設計単価表（別冊）P. 16	kg	190
VC30110	充てん材注入工（ホース牽引方式）	第0-0020号	FDB3005	ダンパー工法 硬化材 DB2 硬化材 2号充てん材1 新潟市設計単価表（別冊）P. 16	kg	560
VC30110	充てん材注入工（ホース牽引方式）	第0-0020号	FDB3007	水（無代）	kg	0

単価入力データ一覧表①

頁0-0098

上位 コード	上位名称	第番号	単 価 コード	単価名称 規格 1, 規格 2, 摘要名称	単 位	金 額
VC30110	充てん材注入工（ホース牽引方式）	第0-0020号	FDB3006	ガンバー工法 添加剤 DB2 添加剤 2号充てん材2 新潟市設計単価表（別冊）P.16	kg	1,920
VC30110	充てん材注入工（ホース牽引方式）	第0-0020号	FDB3007	水（無代）	kg	0
VC30110	充てん材注入工（ホース牽引方式）	第0-0020号	FDB3001	充てん材注入プラント損料① 高速ミキサー・アジテーター・注入ポンプ・給水ポンプ 見積123,000円/日	日	123,000
VC30110	充てん材注入工（ホース牽引方式）	第0-0020号	FDB3002	注入ホース巻取り機損料 3/4B×2本×120m巻② 巻取速度:0.5～26m/min 1.5kW 見積35,800円/日	日	35,800
VC30110	充てん材注入工（ホース牽引方式）	第0-0020号	FDB3003	注入ホース引込ワイヤ損料 φ3～5 ワイヤ×120m巻③ 巻取速度:5～20m/min 0.75kW 見積763円/日	日	763
VC302	充てん材スッパ－工	第0-0021号	FDB3007	水（無代）	kg	0
VC3021	充てん材スッパ－工	第0-0023号	FDB3007	水（無代）	kg	0
VC3022	充てん材スッパ－工	第0-0024号	FDB3007	水（無代）	kg	0
VC303	管内注入口工	第0-0025号	FDB3008	管内注入口プラグ φ36 見積1,500円/個	個	1,500

単価入力データ一覧表①

頁0-0099

上位 コード	上位名称	第番号	単 価 コード	単価名称 規格 1,規格 2,摘要名称	単 位	金 額
VC401	管口仕上工（本管）	第0-0026号	FDB401	管口仕上げ材 耐酸性モルタル 見積521円/㎡	リットル	521
VC401	管口仕上工（本管）	第0-0028号	FDB401	管口仕上げ材 耐酸性モルタル 見積521円/㎡	リットル	521
VC401	管口仕上工（本管）	第0-0029号	FDB401	管口仕上げ材 耐酸性モルタル 見積521円/㎡	リットル	521
VC101	管口仕上工（取付管）	第0-0030号	FDB4001	エポキシコーキング材 見積3,696円/㎡	リットル	3,696
VC1011	管口仕上工（取付管）	第0-0031号	FDB4001	エポキシコーキング材 見積3,696円/㎡	リットル	3,696
VC1012	管口仕上工（取付管）	第0-0032号	FDB4001	エポキシコーキング材 見積3,696円/㎡	リットル	3,696
VKD0040	本管止水工（Y字管工法）	第0-0033号	F2025012	補修プラント車損料 100kw 3t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	6,640
VKD0040	本管止水工（Y字管工法）	第0-0033号	F2024006	給水車損料 132kw 4t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	4,680
VKD0040	本管止水工（Y字管工法）	第0-0033号	FK4002	止水材（注入材） 無機系懸濁液型材料 見積220円/㎡	リットル	220

単価入力データ一覧表①

頁0-0100

上位 コード	上位名称	第番号	単価 コード	単価名称 規格 1,規格 2,摘要名称	単位	金額
VKD00401	本管止水工 (Y字管工法)	第0-0038号	F2025012	補修プラント車損料 100kw 3t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	6,640
VKD00401	本管止水工 (Y字管工法)	第0-0038号	F2024006	給水車損料 132kw 4t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	4,680
VKD00401	本管止水工 (Y字管工法)	第0-0038号	FK4002	止水材 (注入材) 無機系懸濁液型材料 見積220円/リットル	リットル	220
VKD00402	本管止水工 (Y字管工法)	第0-0039号	F2025012	補修プラント車損料 100kw 3t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	6,640
VKD00402	本管止水工 (Y字管工法)	第0-0039号	F2024006	給水車損料 132kw 4t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	4,680
VKD00402	本管止水工 (Y字管工法)	第0-0039号	FK4002	止水材 (注入材) 無機系懸濁液型材料 見積220円/リットル	リットル	220
VKD00403	取付管口止水工 (Y字管工法)	第0-0040号	F2025012	補修プラント車損料 100kw 3t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	6,640
VKD00403	取付管口止水工 (Y字管工法)	第0-0040号	F2024006	給水車損料 132kw 4t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	4,680
VKD00403	取付管口止水工 (Y字管工法)	第0-0040号	FK4002	止水材 (注入材) 無機系懸濁液型材料 見積220円/リットル	リットル	220

単 価 入 力 デ ー タ 一 覧 表 ①

頁0-0101

上 位 コード	上 位 名 称	第 番 号	単 価 コード	単 価 名 称 規 格 1,規 格 2,摘 要 名 称	単 位	金 額
VC207	既設管洗浄工	第0-0045号	FDB2006	高压洗浄機[工事用・モータ駆動] 吐出量30.8ℓ/min 圧力7.8MPa 運転日当たり換算値(無積雪地(c1)) 建設機械損料表	日	1,960
VC207	既設管洗浄工	第0-0045号	FDB2007	洗浄水(無代)	m3	0
VC2071	既設管洗浄工	第0-0046号	FDB2006	高压洗浄機[工事用・モータ駆動] 吐出量30.8ℓ/min 圧力7.8MPa 運転日当たり換算値(無積雪地(c1)) 建設機械損料表	日	1,960
VC2071	既設管洗浄工	第0-0046号	FDB2007	洗浄水(無代)	m3	0
VHI0012	取付管更生工法 L=1.4m	第0-0049号	FHI002	補修機損料 ライニング用機器(光硬化) 見積35,600円/日	日	35,600
VHI0012	取付管更生工法 L=1.4m	第0-0049号	F2024023	高压洗浄車損料 154kw 4t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	8,840
VHI0012	取付管更生工法 L=1.4m	第0-0049号	FSISU001	止水プラグ(円形管) 損料 取付管用 見積249円/日	日	249
VHI0012	取付管更生工法 L=1.4m	第0-0049号	FTORI001	取付管用TVカメラ損料 見積994円/時間	時間	994
VHI0012	取付管更生工法 L=1.4m	第0-0049号	F2024023	高压洗浄車損料 154kw 4t 単価・歩掛算出明細書参照	時間	8,840

単価入力データ一覧表①

頁0-0102

[illegible]

白山排水区白山幹線26-1管更生工事

数量計算書(総括表)

ダンビー工法積算資料

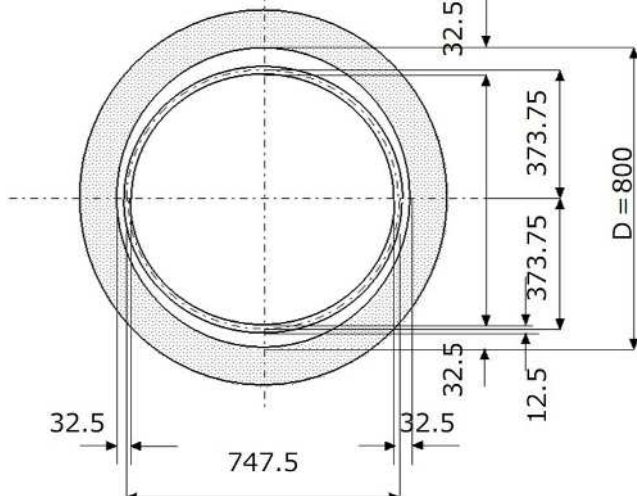
令和6年度版(令和6年4月1日発行)

		市道	市道	市道	市道	国道	国道				
直接工事費											
（標準ストリップ） （SFジョイナー） ター取付工 土工 管工 （直線区間） （曲線・段差・人力） 長工 付注入工 付ストツパー工 人口工 上げ工 備工 口仕上工 物設置・撤去工	S形	87.16	295.97	314.28	223.80	26.41	577.75	1525.37	m		
	S形	87.16	295.97	314.28	223.80	26.41	577.75	1525.37	m		
	既設管径φ900 頂部スパーサーS型 既設管径φ1200 頂部スパーサーM型 SD295-D10 主筋:7.13kg/m 配力筋:5.60kg/m	10.25	36.03	38.29	27.12		2.30	45.20	2.30 45.20 111.69	m m m	日進量: 日進量: 日進量:
	既設管径φ800.900 既設管径φ1200	1.50	1.50	1.50	1.50	2.30		8.30 3.00	m m	日進量: 日進量:	
	既設管径φ800以上1000未満 既設管径φ1000以上1500以下	8.75	34.53	36.79	25.62		3.00 45.20	3.00 105.69 45.20	m m m	日進量: 日進量: 日進量:	
	既設管800以上2000以下 φ800 既設管800以上2000以下 φ900 既設管800以上2000以下 φ1200	2	2	2	2		2	0.00 8.00 2.00 4.00	m 箇所 箇所 箇所		
	管内注入方式 充てん材2号 既設管径φ800 ホース牽引方式 充てん材2号 既設管径φ900 ホース牽引方式 充てん材2号 既設管径φ1200	10.25	36.03	38.29	27.12		2.30	111.69 2.30 45.20	m m m	日進量: 日進量: 日進量:	
	急結モルタル量0.003m3/箇所 急結モルタル量0.002m3/箇所 急結モルタル量0.004m3/箇所	2	2	2	2		2	8 2 4	箇所 箇所 箇所	普通作業 普通作業 普通作業	
	既設管径800～900	7	29	31	22			89	箇所	日進量:	
	既設管径800 既設管径900 既設管径1200	2	2	2	2		2	8 2 4	箇所 箇所 箇所	管口仕上 管口仕上 管口仕上	
	別紙参照							39.5	日		
	本管Y字管注入工 φ800 本管Y字管注入工 φ900 本管Y字管注入工 φ1200 取付管管口注入工 φ150	2.5	17.6	2.5	2.5		2.8	25.1 2.8 11.3 0.5	m m m m		
	φ200mm以下 φ300mm φ350mm	2 0 0	9 0 0	13 1 0	7 0 0	0 0 0	1 2 1	32 3 1	箇所 箇所 箇所		
	0	0	0	0	0	0	0	0	箇所		
	別紙参照							12.5 133.0	人日 人日		
	準備費										
	洗浄工 内調査工 備工	既設管径800～900 既設管径1000～1350	10.25	36.03	38.29	27.12	2.30	45.20	113.99 45.20	m m	日進量: 日進量:
		既設管径800以上1500未満	10.25	36.03	38.29	27.12	2.30	45.20	159.19	m	日進量:
		別紙参照							1.5	日	

ダンビー工法数量計算書 No.145(143)

名 称	算 定 式	単位	数 量
管きょ更生工事			
既設管口径		mm	800
路線延長		m	11.45
更生延長		m	10.25
①更生延長	(直線・曲線部) L = 10.250	m	10.25
巻立延長			
①巻立延長	(直線・曲線部) スパン数 L = 10.250 + 0.510 × 1 = 10.760 m	m	10.76
(1) 標準ストリップ管		m	10.25
	標準ストリップ	m	87.16
	SFジョイナー	m	87.16
(2) 製管工		m	10.25
	端部製管工	m	1.50
	製管工	m	8.75
	端部緊張工	箇所	2.00
	既設管洗浄工	m	10.25
(3) 充てん材注入工		m	10.25
	充てん材注入工	m	10.25
	充てん材ストッパー工	箇所	2.00
	管内注入口工	箇所	7.00
(4) 管口仕上げ工		箇所	2.00
(10) 取付管口仕上工	φ200mm以下	箇所	2.00
(12) 既設管補強工		m	10.25

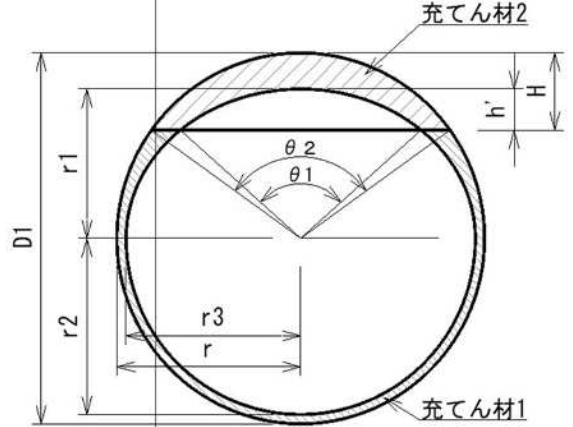
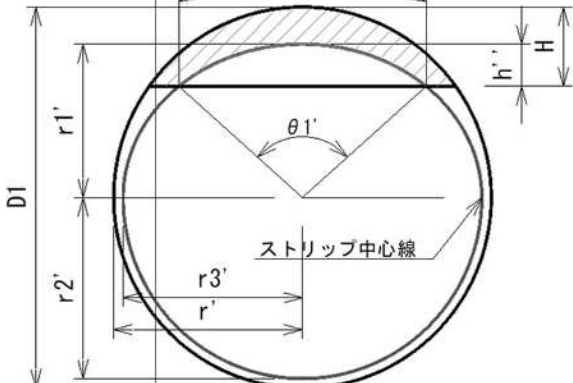
ダンビー工法数量計算書 No.145(143)

名 称	算 定 式	単位	数 量
標準ストリップ管			
(1) 標準ストリップ	<p>下図、更生断面図より算定</p>  <p>既設管内径 D = 800 mm = 0.800 m</p> <p>ストリップ種類 : S形 ストリップ容積 0.00111 m³/m</p> <p>ストリップ厚 t = 12.5 mm = 0.0125 m</p> <p>a : 373.75 mm = 0.3738 m</p> <p>b1 : 373.75 mm = 0.3738 m</p> <p>b2 : 373.75 mm = 0.3738 m</p> <p>ストリップ幅 255 mm ストリップ+ジョイナー幅 290 mm</p> <p>ストリップ円周長の算定（上部半断面を楕円、下部半断面を円として算定）</p> <p>上半楕円周長</p> $= \pi \times \left(\frac{a^2 + b_1^2}{2} \right)^{0.5} = 1.1742 \text{ m}$ <p>下半円周長</p> $= \pi \times \left(\frac{a^2 + b_2^2}{2} \right)^{0.5} = 1.1742 \text{ m}$ <p>周長</p> $= 1.1742 + 1.1742 = 2.348 \text{ m}$ <p>製管 1 m 当りのストリップ使用量</p> $L_1 = \left(\frac{1000}{290} \right) \times 2.348$ $= 8.1 \text{ m}$ <p>1 スパン当りのストリップ使用量</p> $= L_1 \times (1 \text{ スパン巻立延長})$ <p>(直線・曲線部) = 8.1 × 10.760 = 87.16 m</p> <p>(急曲線部) = 8.1 × = m</p>		
(2) SFジョイナー	<p>S形 -SFジョイナー</p> <p>1 スパン当りのジョイナー使用量 = ストリップ使用量</p> <p>(直線・曲線部) = 87.16 m</p> <p>(急曲線部) = m</p>	m	87.16

ダンビー工法数量計算書 No.145(143)

名 称	算 定 式	単位	数 量
製管工			
(2) 端部製管工	$L = 1.50 \text{ m} \times 1 \text{ スパン} : 1.50 \text{ m}$	m	1.50
(人力製管)	1 日当り製管延長 18 m/日		
(3) 製管工 直線区間 (機械製管)	$L = 10.250 - 1.5$ $= 8.750 \text{ m}$	m	8.75
(機械製管)	1 日当り製管延長 50 m/日		
(5) 端部緊張工	$N = 2 \text{ 箇所}$	箇所	2.00
(6) 既設管洗浄工	$L = \text{更生延長} = 10.25 \text{ m}$ 1 日当り既設管洗浄工延長 150 m	m	10.25
充てん材注工			
(1) 充てん材注工	$L = \text{更生延長} = 10.25 \text{ m}$	m	10.25
① 充てん材の算定	既設管内空面積 「積算資料 I - 13 参照」 $= A1 = \frac{\pi D^2}{4} = 0.503 \text{ m}^2$ 上半楕円内空面積 $= A2 = \frac{\{\pi (a-t/2)(b1-t/2)\}}{2} = 0.2121 \text{ m}^2$ 下半円内空面積 $= A3 = \frac{\{\pi (a-t/2)(b2-t/2)\}}{2} = 0.2121 \text{ m}^2$ 内空面積 計 0.424 m ² 1 m 当り充てん材注入量 (q) $= A1 - (A2 + A3) - \text{ストリップ管容量}$ $- \text{鋼材容量}$ $= 0.503 - (0.2121 + 0.2121)$ $- 8.1 \times 0.00111 \text{ *ストリップ管容量(m3/m)}$ $- 12.70 \div 7850 \text{ *鉄筋単位体積重量(kg/m3)}$ $= 0.068 \text{ m}^3/\text{m}$ 充てん材注入量 $= 10.25 \times 0.068 = 0.70 \text{ m}^3$	m ³	0.70

ダンビー工法数量計算書 No.145(143)

名 称	算 定 式	単位	数 量
②充てん材2の算定	<p>管頂部は、主材のみの充てん材（充てん材2）を注入する。</p> <p>「積算資料 I -13参照」</p>  <p>既設管内径 D1 800 mm</p> <p>既設管半径 r 400 mm</p> <p>楕円半径 r1 367.50 mm</p> <p>楕円半径 r2 367.50 mm</p> <p>楕円半径 r3 367.50 mm</p> <p>頂部内角 更生管 $\theta 1$ 86.6 °</p> <p>頂部内角 充てん材 $\theta 2$ 96.1 °</p> <p>充てん材2 高さ H 132.50 mm</p> <p>充てん切替位置高 h' 100.00 mm</p>  <p>既設管内径 D1 800 mm</p> <p>既設管半径 r 400 mm</p> <p>楕円半径 r1' 373.75 mm</p> <p>楕円半径 r2' 373.75 mm</p> <p>楕円半径 r3' 373.75 mm</p> <p>頂部内角 更生管 $\theta 1'$ 88.6 °</p> <p>充てん材2 高さ H 132.50 mm</p> <p>充てん切替位置高 h'' 106.25 mm</p> <p>充てん材2（CAD計測） = 0.020 m3/m</p> <p>控除ストリップ長（CAD計測） = 0.578 m</p> <p>1 m当り充てん材注入量 (q2)</p> <p>= 充てん材2（CAD計測） - ストリップ管容量</p> <p>= 0.020 - 0.578 ÷ 0.290 × 0.001110</p> <p>= 0.018 m3/m</p>		
③充てん材1の算定	<p>管頂部以外の充てん材注入は主材と硬化材の2ショット方式（充てん材1）とする。</p> <p>充てん材1</p> <p>= 0.068 - 0.018 = 0.050 m³/m</p>		

ダンビー工法数量計算書 No.145(143)

名 称	算 定 式	単 位	数 量
④ 1 日当り注入量の算定	1 日当り充てん材注入量 (標準)	4.0 m ³ /日	
	今回日作業時間 8 時間/日 より		
	4.0 × 8/8 = 4.0 m ³ /日		
	1 日当り充てん材注入延長 = 1 日当り充てん材注入量 ÷ 1 m 当り充てん材注入量		
	= 4.0 ÷ 0.068 = 59 m/日		
	1 日当り充てん材量		
	= 4.0 × 1.05 (割増率) = 4.2 m ³ /日		
	2 号 充てん材 1 「積算資料 I - 37 参照」		
	= 4.2 × $\frac{0.050}{0.068}$ = 3.09 m ³ /日	m ³ /日	3.09
	2 号 充てん材 2 「積算資料 I - 37 参照」		
	= 4.2 × $\frac{0.018}{0.068}$ = 1.11 m ³ /日	m ³ /日	1.11
(2) 充てん材 ストッパー工	管上半面の既設管とストリップ管のクリアランスを モルタルで閉塞する。		
	充てん材ストッパー箇所数		
	N = 2 箇所	箇所	2.00
	「積算資料 I - 39 参照」		
(3) 管内注入口工	1 箇所当りモルタル量の算定		
	t = 50 mm = 0.05 m		
	= 1 箇所当り内空面積 × モルタル厚		
	= 0.068 × 0.05 = 0.003 m ³	m ³ /箇所	0.003
	N = 7 箇所	箇所	7.00
	30 箇所/日		
	N = 10.25 ÷ 3.0 × 2 = 6		
	N = 10.25 ÷ 7.0 = 1		
	計 7		
	管内注入口は以下の延長に 1 箇所設ける。		
	・ 左右 2 箇所に 3m 以内毎、および管頂部 1 箇所に 7m 以内毎		
	「積算資料 I - 40 参照」		

ダンビー工法数量計算書 No.145(143)

名 称	算 定 式	単 位	数 量
管口仕上げ工			
(1) 管口仕上げ工	<p>人孔側壁と更生管の管口を管口コーキング材で仕上げる。</p> <p>N = 2 箇所</p>	箇所	2
① 下半面摺り付け	<p>・ 1 箇所当り管口コーキング量 (Q) の算定</p> <p>箇所 2</p> <div data-bbox="510 537 1133 1008"> </div> <p>・ 1箇所当り管口コーキング量 (Q) ℓ</p> <p>1 m当り充てん材注入量 (q) = 0.068 m3/m</p> <p>既設管内空面積 (A1) = 0.503 m2</p> <p>更生管下半分内空面積 (A3) = 0.2121 m2</p> <p>「積算資料 I-41参照」</p> <p>Q = { 1 m当り充てん材注入量×0.01 + (既設管下半分内空面積 - 更生管下半分内空面積) ×0.05/2 }×1000</p> <p>= { q × 0.01 + ($\frac{A1}{2}$ - A3) ×0.05/2 } ×1000</p> <p>= { 0.068 × 0.01 + ($\frac{0.503}{2}$ - 0.2121) ×0.05/2 } ×1000</p> <p>= 1.7 ℓ/箇所</p> <p>よって下半摺り付け部管口コーキング量は</p> <p>1.7 ℓ/箇所 × 2.00 箇所 = 3.4 ℓ</p>	ℓ	3.4

ダンビー工法数量計算書 No.145(143)

名 称	算 定 式	単位	数 量
-----	-------	----	-----

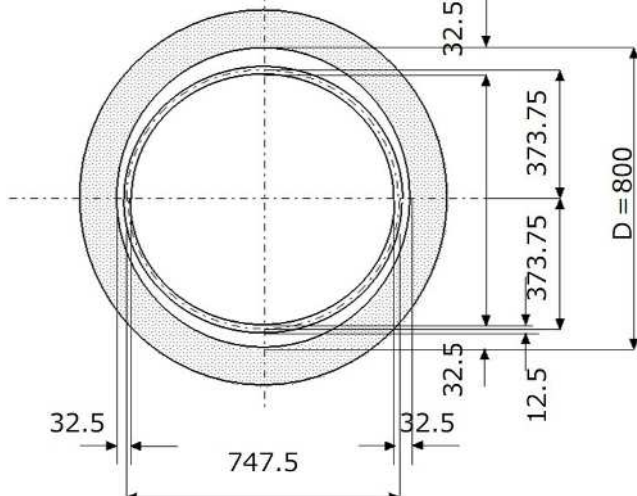
補強鉄筋日進量

(1) 補強鉄筋工			m/日	10.0
	・主鉄筋		重ね継手長	35 D
	1周当たり長さ		分割数	2
	①主筋周長	②重ね継手増分	③一本長さ	小計③×分割数(m)
	2.482	0.350	1.591	3.182
	更生延長 1 m 当り		鉄筋径	D10
	本数/m	計(m)	kg/m	1m 当り重量(kg)
	4	12.728	0.560	7.13
	・配力筋			
	1周当たり	鉄筋径	D10	
		本数/m	kg/m	1m 当り重量(kg)
		10	0.560	5.60
			1m 当り重量(kg)	12.730 kg

ダンビー工法数量計算書 No.146(144)

名 称	算 定 式	単位	数 量
管きょ更生工事			
既設管口径		mm	800
路線延長		m	37.23
更生延長		m	36.03
①更生延長	(直線・曲線部) L = 36.030	m	36.03
巻立延長			
①巻立延長	(直線・曲線部) スパン数 L = 36.030 + 0.510 × 1 = 36.540 m	m	36.54
(1) 標準ストリップ管		m	36.03
	標準ストリップ	m	295.97
	SFジョイナー	m	295.97
(2) 製管工		m	36.03
	端部製管工	m	1.50
	製管工	m	34.53
	端部緊張工	箇所	2.00
	既設管洗浄工	m	36.03
(3) 充てん材注入工		m	36.03
	充てん材注入工	m	36.03
	充てん材ストッパー工	箇所	2.00
	管内注入口工	箇所	29.00
(4) 管口仕上げ工		箇所	2.00
(10) 取付管口仕上工	φ200mm以下	箇所	9.00
(12) 既設管補強工		m	36.03

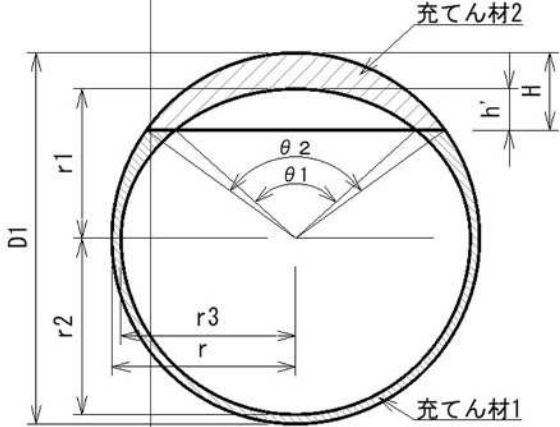
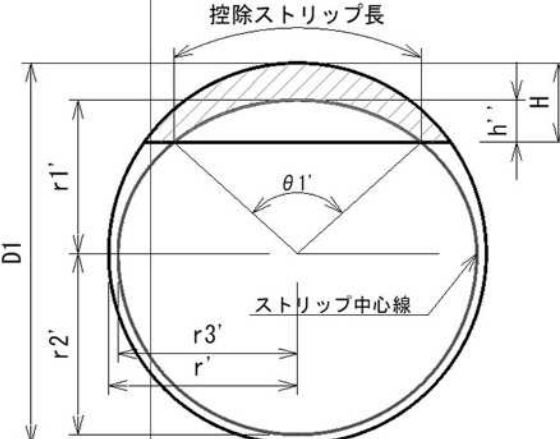
ダンビー工法数量計算書 No.146(144)

名 称	算 定 式	単位	数 量
標準ストリップ管			
(1) 標準ストリップ	<p>下図、更生断面図より算定</p>  <p>既設管内径 D = : 800 mm = 0.800 m</p> <p>ストリップ種類 : S形 ストリップ容積 0.00111 m³/m</p> <p>ストリップ厚 t = : 12.5 mm = 0.0125 m</p> <p>a : 373.75 mm = 0.3738 m</p> <p>b1 : 373.75 mm = 0.3738 m</p> <p>b2 : 373.75 mm = 0.3738 m</p> <p>ストリップ幅 255 mm ストリップ+ジョイナー幅 290 mm</p> <p>ストリップ円周長の算定（上部半断面を楕円、下部半断面を円として算定）</p> <p>上半楕円周長</p> $= \pi \times \left(\frac{a^2 + b_1^2}{2} \right)^{0.5} = 1.1742 \text{ m}$ <p>下半円周長</p> $= \pi \times \left(\frac{a^2 + b_2^2}{2} \right)^{0.5} = 1.1742 \text{ m}$ <p>周長</p> $= 1.1742 + 1.1742 = 2.348 \text{ m}$ <p>製管 1 m 当りのストリップ使用量</p> $L_1 = \left(\frac{1000}{290} \right) \times 2.348$ $= 8.1 \text{ m}$ <p>1 スパン当りのストリップ使用量</p> $= L_1 \times (1 \text{ スパン巻立延長})$ <p>(直線・曲線部) = 8.1 × 36.540 = 295.97 m</p> <p>(急曲線部) = 8.1 × = m</p>		
(2) SFジョイナー	<p>S形 -SFジョイナー</p> <p>1 スパン当りのジョイナー使用量 = ストリップ使用量</p> <p>(直線・曲線部) = 295.97 m</p> <p>(急曲線部) = m</p>	m	295.97

ダンビー工法数量計算書 No.146(144)

名 称	算 定 式	単 位	数 量
製管工			
(2) 端部製管工	$L = 1.50 \text{ m} \times 1 \text{ スパン} : 1.50 \text{ m}$	m	1.50
(人力製管)	1 日当り製管延長 18 m/日		
(3) 製管工 直線区間 (機械製管)	$L = 36.030 - 1.5$ $= 34.530 \text{ m}$	m	34.53
(機械製管)	1 日当り製管延長 50 m/日		
(5) 端部緊張工	$N = 2 \text{ 箇所}$	箇所	2.00
(6) 既設管洗浄工	$L = \text{更生延長} = 36.03 \text{ m}$ 1 日当り既設管洗浄工延長 150 m	m	36.03
充てん材注入工			
(1) 充てん材注入工	$L = \text{更生延長} = 36.03 \text{ m}$	m	36.03
① 充てん材の算定	既設管内空面積 「積算資料 I - 13 参照」 $= A1 = \frac{\pi D^2}{4} = 0.503 \text{ m}^2$ 上半楕円内空面積 $= A2 = \frac{\{\pi (a-t/2)(b1-t/2)\}}{2} = 0.2121 \text{ m}^2$ 下半円内空面積 $= A3 = \frac{\{\pi (a-t/2)(b2-t/2)\}}{2} = 0.2121 \text{ m}^2$ 内空面積 計 0.424 m ² 1 m 当り充てん材注入量 (q) $= A1 - (A2 + A3) - \text{ストリップ管容量}$ $- \text{鋼材容量}$ $= 0.503 - (0.2121 + 0.2121)$ $- 8.1 \times 0.00111 \text{ *ストリップ管容量(m3/m)}$ $- 12.70 \div 7850 \text{ *鉄筋単位体積重量(kg/m3)}$ $= 0.068 \text{ m}^3/\text{m}$ 充てん材注入量 $= 36.03 \times 0.068 = 2.45 \text{ m}^3$	m ³	2.45

ダンビー工法数量計算書 No.146(144)

名 称	算 定 式	単 位	数 量
②充てん材 2 の算定	<p>管頂部は、主材のみの充てん材（充てん材 2）を注入する。</p> <p>「積算資料 I - 13 参照」</p>  <p>既設管内径 D1 800 mm</p> <p>既設管半径 r 400 mm</p> <p>楕円半径 r1 367.50 mm</p> <p>楕円半径 r2 367.50 mm</p> <p>楕円半径 r3 367.50 mm</p> <p>頂部内角 更生管 θ1 86.6 °</p> <p>頂部内角 充てん材 θ2 96.1 °</p> <p>充てん材 2 高さ H 132.50 mm</p> <p>充てん切替位置高 h' 100.00 mm</p>  <p>既設管内径 D1 800 mm</p> <p>既設管半径 r 400 mm</p> <p>楕円半径 r1' 373.75 mm</p> <p>楕円半径 r2' 373.75 mm</p> <p>楕円半径 r3' 373.75 mm</p> <p>頂部内角 更生管 θ1' 88.6 °</p> <p>充てん材 2 高さ H 132.50 mm</p> <p>充てん切替位置高 h'' 106.25 mm</p> <p>充てん材 2（CAD計測） = 0.020 m³/m</p> <p>控除ストリップ長（CAD計測） = 0.578 m</p> <p>1 m 当り充てん材注入量 (q2)</p> <p>= 充てん材 2（CAD計測） - ストリップ管容量</p> <p>= 0.020 - 0.578 ÷ 0.290 × 0.001110</p> <p>= 0.018 m³/m</p>		
③充てん材 1 の算定	<p>管頂部以外の充てん材注入は主材と硬化材の 2 ショット方式（充てん材 1）とする。</p> <p>充てん材 1</p> <p>= 0.068 - 0.018 = 0.050 m³/m</p>		

ダンビー工法数量計算書 No.146(144)

名 称	算 定 式	単 位	数 量
④ 1 日当り注入量の算定	<p>1 日当り充てん材注入量 (標準) 4.0 m³/日</p> <p>今回日作業時間 8 時間/日 より</p> <p>4.0 × 8/8 = 4.0 m³/日</p> <p>1 日当り充てん材注入延長 = 1 日当り充てん材注入量 ÷ 1 m 当り充てん材注入量</p> <p>= 4.0 ÷ 0.068 = 59 m/日</p> <p>1 日当り充てん材量</p> <p>= 4.0 × 1.05 (割増率) = 4.2 m³/日</p> <p>2 号 充てん材 1 「積算資料 I - 37 参照」</p> <p>= 4.2 × $\frac{0.050}{0.068}$ = 3.09 m³/日</p> <p>2 号 充てん材 2 「積算資料 I - 37 参照」</p> <p>= 4.2 × $\frac{0.018}{0.068}$ = 1.11 m³/日</p>	m ³ /日	3.09
(2) 充てん材 ストッパー工	<p>管上半面の既設管とストリップ管のクリアランスを モルタルで閉塞する。</p> <p>充てん材ストッパー箇所数</p> <p>N = 2 箇所</p> <p>「積算資料 I - 39 参照」</p> <p>1 箇所当りモルタル量の算定</p> <p>t = 50 mm = 0.05 m</p> <p>= 1 箇所当り内空面積 × モルタル厚</p> <p>= 0.068 × 0.05 = 0.003 m³</p>	m ³ /箇所	0.003
(3) 管内注入口工	<p>N = 29 箇所</p> <p>30 箇所/日</p> <p>N = 36.03 ÷ 3.0 × 2 = 24</p> <p>N = 36.03 ÷ 7.0 = 5</p> <p>計 29</p> <p>管内注入口は以下の延長に 1 箇所設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 左右 2 箇所に 3m 以内毎、および管頂部 1 箇所に 7m 以内毎 <p>「積算資料 I - 40 参照」</p>	箇所	29.00

ダンビー工法数量計算書 No.146(144)

名 称	算 定 式	単 位	数 量
管口仕上げ工			
(1) 管口仕上げ工	<p>人孔側壁と更生管の管口を管口コーキング材で仕上げる。</p> <p>N = 2 箇所</p>	箇所	2
① 下半面摺り付け	<p>・ 1 箇所当り管口コーキング量 (Q) の算定</p> <p>箇所 2</p> <div data-bbox="510 537 1133 1008"> </div> <p>・ 1 箇所当り管口コーキング量 (Q) ℓ</p> <p>1 m 当り充てん材注入量 (q) = 0.068 m³/m</p> <p>既設管内空面積 (A1) = 0.503 m²</p> <p>更生管下半分内空面積 (A3) = 0.2121 m²</p> <p>「積算資料 I-41 参照」</p> <p>Q = { 1 m 当り充てん材注入量 × 0.01 + (既設管下半分内空面積 - 更生管下半分内空面積) × 0.05/2 } × 1000</p> <p>= { q × 0.01 + ($\frac{A1}{2}$ - A3) × 0.05/2 } × 1000</p> <p>= { 0.068 × 0.01 + ($\frac{0.503}{2}$ - 0.2121) × 0.05/2 } × 1000</p> <p>= 1.7 ℓ / 箇所</p> <p>よって下半摺り付け部管口コーキング量は</p> <p>1.7 ℓ / 箇所 × 2.00 箇所 = 3.4 ℓ</p>	ℓ	3.4

ダンビー工法数量計算書 No.146(144)

名 称	算 定 式	単位	数 量
-----	-------	----	-----

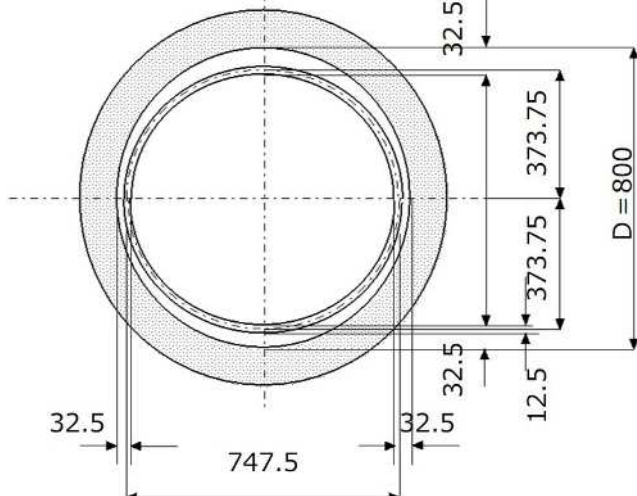
補強鉄筋日進量

(1) 補強鉄筋工			m/日	10.0
	・主鉄筋		重ね継手長	35 D
	1周当たり長さ		分割数	2
	①主筋周長	②重ね継手増分	③一本長さ	小計③×分割数(m)
	2.482	0.350	1.591	3.182
	更生延長 1 m 当り		鉄筋径	D10
	本数/m	計(m)	kg/m	1m 当り重量(kg)
	4	12.728	0.560	7.13
	・配力筋			
	1周当たり	鉄筋径	D10	
		本数/m	kg/m	1m 当り重量(kg)
		10	0.560	5.60
		1m 当り重量(kg)	12.730 kg	

ダンビー工法数量計算書 No.147(145)

名 称	算 定 式	単位	数 量
管きょ更生工事			
既設管口径		mm	800
路線延長		m	39.64
更生延長		m	38.29
①更生延長	(直線・曲線部) L = 38.290	m	38.29
巻立延長			
①巻立延長	(直線・曲線部) スパン数 L = 38.290 + 0.510 × 1 = 38.800 m	m	38.80
(1) 標準ストリップ管		m	38.29
	標準ストリップ	m	314.28
	SFジョイナー	m	314.28
(2) 製管工		m	38.29
	端部製管工	m	1.50
	製管工	m	36.79
	端部緊張工	箇所	2.00
	既設管洗浄工	m	38.29
(3) 充てん材注入工		m	38.29
	充てん材注入工	m	38.29
	充てん材ストッパー工	箇所	2.00
	管内注入口工	箇所	31.00
(4) 管口仕上げ工		箇所	2.00
(10) 取付管口仕上工	φ200mm以下	箇所	13.00
	φ300mm	箇所	1.00
(12) 既設管補強工		m	38.29

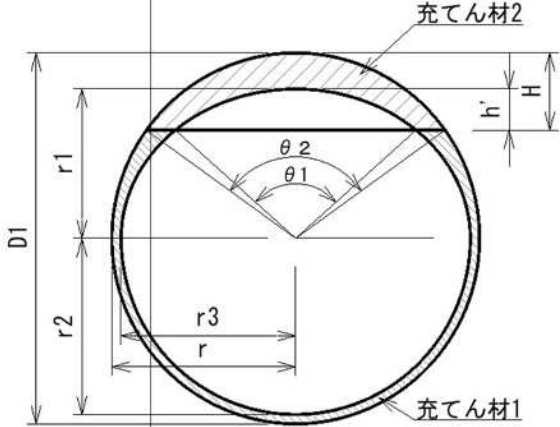
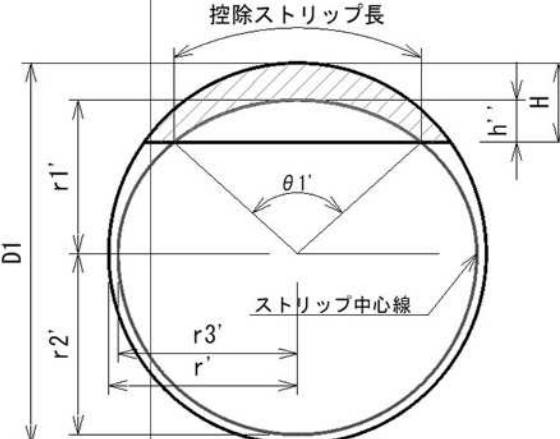
ダンビー工法数量計算書 No.147(145)

名 称	算 定 式	単位	数 量
標準ストリップ管			
(1) 標準ストリップ	<p>下図、更生断面図より算定</p>  <p>既設管内径 D = 800 mm = 0.800 m</p> <p>ストリップ種類 : S形 ストリップ容積 0.00111 m³/m</p> <p>ストリップ厚 t = 12.5 mm = 0.0125 m</p> <p>a : 373.75 mm = 0.3738 m</p> <p>b1 : 373.75 mm = 0.3738 m</p> <p>b2 : 373.75 mm = 0.3738 m</p> <p>ストリップ幅 255 mm ストリップ+ジョイナー幅 290 mm</p> <p>ストリップ円周長の算定（上部半断面を楕円、下部半断面を円として算定）</p> <p>上半楕円周長</p> $= \pi \times \left(\frac{a^2 + b_1^2}{2} \right)^{0.5} = 1.1742 \text{ m}$ <p>下半円周長</p> $= \pi \times \left(\frac{a^2 + b_2^2}{2} \right)^{0.5} = 1.1742 \text{ m}$ <p>周長</p> $= 1.1742 + 1.1742 = 2.348 \text{ m}$ <p>製管 1 m 当りのストリップ使用量</p> $L_1 = \left(\frac{1000}{290} \right) \times 2.348$ $= 8.1 \text{ m}$ <p>1 スパン当りのストリップ使用量</p> $= L_1 \times (1 \text{ スパン巻立延長})$ <p>(直線・曲線部) = 8.1 × 38.800 = 314.28 m</p> <p>(急曲線部) = 8.1 × = m</p>		
(2) SFジョイナー	<p>S形 -SFジョイナー</p> <p>1 スパン当りのジョイナー使用量 = ストリップ使用量</p> <p>(直線・曲線部) = 314.28 m</p> <p>(急曲線部) = m</p>	m	314.28

ダンビー工法数量計算書 No.147(145)

名 称	算 定 式	単位	数 量
製管工			
(2) 端部製管工	$L = 1.50 \text{ m} \times 1 \text{ スパン} : 1.50 \text{ m}$	m	1.50
(人力製管)	1 日当り製管延長 18 m/日		
(3) 製管工 直線区間 (機械製管)	$L = 38.290 - 1.5$ $= 36.790 \text{ m}$	m	36.79
(機械製管)	1 日当り製管延長 50 m/日		
(5) 端部緊張工	$N = 2 \text{ 箇所}$	箇所	2.00
(6) 既設管洗浄工	$L = \text{更生延長} = 38.29 \text{ m}$ 1 日当り既設管洗浄工延長 150 m	m	38.29
充てん材注入工			
(1) 充てん材注入工	$L = \text{更生延長} = 38.29 \text{ m}$	m	38.29
① 充てん材の算定	既設管内空面積 「積算資料 I - 13 参照」 $= A1 = \frac{\pi D^2}{4} = 0.503 \text{ m}^2$ 上半楕円内空面積 $= A2 = \frac{\{\pi (a-t/2)(b1-t/2)\}}{2} = 0.2121 \text{ m}^2$ 下半円内空面積 $= A3 = \frac{\{\pi (a-t/2)(b2-t/2)\}}{2} = 0.2121 \text{ m}^2$ 内空面積 計 0.424 m ² 1 m 当り充てん材注入量 (q) $= A1 - (A2 + A3) - \text{ストリップ管容量}$ - 鋼材容量 $= 0.503 - (0.2121 + 0.2121)$ - 8.1×0.00111 *ストリップ管容量(m ³ /m) - $12.70 \div 7850$ *鉄筋単位体積重量(kg/m ³) $= 0.068 \text{ m}^3/\text{m}$ 充てん材注入量 $= 38.29 \times 0.068 = 2.60 \text{ m}^3$	m ³	2.60

ダンビー工法数量計算書 No.147(145)

名 称	算 定 式	単 位	数 量
②充てん材2の算定	<p>管頂部は、主材のみの充てん材（充てん材2）を注入する。</p> <p>「積算資料 I -13参照」</p>  <p>既設管内径 D1 800 mm</p> <p>既設管半径 r 400 mm</p> <p>楕円半径 r1 367.50 mm</p> <p>楕円半径 r2 367.50 mm</p> <p>楕円半径 r3 367.50 mm</p> <p>頂部内角 更生管 $\theta 1$ 86.6 °</p> <p>頂部内角 充てん材 $\theta 2$ 96.1 °</p> <p>充てん材2 高さ H 132.50 mm</p> <p>充てん切替位置高 h' 100.00 mm</p>  <p>既設管内径 D1 800 mm</p> <p>既設管半径 r 400 mm</p> <p>楕円半径 r1' 373.75 mm</p> <p>楕円半径 r2' 373.75 mm</p> <p>楕円半径 r3' 373.75 mm</p> <p>頂部内角 更生管 $\theta 1'$ 88.6 °</p> <p>充てん材2 高さ H 132.50 mm</p> <p>充てん切替位置高 h'' 106.25 mm</p> <p>ストリップ中心線</p> <p>控除ストリップ長</p> <p>充てん材2（CAD計測） = 0.020 m³/m</p> <p>控除ストリップ長（CAD計測） = 0.578 m</p> <p>1 m当り充てん材注入量 (q2)</p> <p>= 充てん材2（CAD計測） - ストリップ管容量</p> <p>= 0.020 - 0.578 ÷ 0.290 × 0.001110</p> <p>= 0.018 m³/m</p>		
③充てん材1の算定	<p>管頂部以外の充てん材注入は主材と硬化材の2ショット方式（充てん材1）とする。</p> <p>充てん材1</p> <p>= 0.068 - 0.018 = 0.050 m³/m</p>		

ダンビー工法数量計算書 No.147(145)									
名 称	算 定 式						単位	数 量	
④ 1 日当り注入量の算定	1 日当り充てん材注入量 (標準)						4.0	m ³ /日	
	今回日作業時間 8 時間/日 より $4.0 \times 8/8 = 4.0 \text{ m}^3/\text{日}$								
	1 日当り充てん材注入延長 = 1 日当り充てん材注入量 ÷ 1 m当り充てん材注入量								
	$= 4.0 \div 0.068 = 59 \text{ m/日}$								
	1 日当り充てん材量								
	$= 4.0 \times 1.05 \text{ (割増率)} = 4.2 \text{ m}^3/\text{日}$								
	2 号 充てん材 1 「積算資料 I -37参照」								
	$= 4.2 \times \frac{0.050}{0.068} = 3.09 \text{ m}^3/\text{日}$						m ³ /日	3.09	
	2 号 充てん材 2 「積算資料 I -37参照」								
	$= 4.2 \times \frac{0.018}{0.068} = 1.11 \text{ m}^3/\text{日}$						m ³ /日	1.11	
(2) 充てん材ストッパー工	管上半面の既設管とストリップ管のクリアランスをモルタルで閉塞する。								
	充てん材ストッパー箇所数								
	N = 2 箇所						箇所	2.00	
	「積算資料 I -39参照」								
(3) 管内注入口工	1 箇所当りモルタル量の算定								
	$t = 50 \text{ mm} = 0.05 \text{ m}$								
	$= 1 \text{ 箇所当り内空面積} \times \text{モルタル厚}$								
	$= 0.068 \times 0.05 = 0.003 \text{ m}^3$						m ³ /箇所	0.003	
	N = 31 箇所						箇所	31.00	
	30 箇所/日								
	N = 38.29 ÷ 3.0 × 2 = 26								
	N = 38.29 ÷ 7.0 = 5								
	計 31								
	管内注入口は以下の延長に 1 箇所設ける。								
・ 左右2箇所に3m以内毎、および管頂部1箇所に7m以内毎 「積算資料 I -40参照」									

- ・ 左右2箇所3m以内毎、および管頂部1箇所に7m以内毎

「積算資料 I -40参照」

ダンビー工法数量計算書 No.147(145)

名 称	算 定 式	単 位	数 量
管口仕上げ工			
(1) 管口仕上げ工	<p>人孔側壁と更生管の管口を管口コーキング材で仕上げる。</p> <p>N = 2 箇所</p>	箇所	2
① 下半面摺り付け	<p>・ 1 箇所当り管口コーキング量 (Q) の算定</p> <p>箇所 2</p> <div data-bbox="510 537 1133 1008"> </div> <p>・ 1 箇所当り管口コーキング量 (Q) ℓ</p> <p>1 m 当り充てん材注入量 (q) = 0.068 m³/m</p> <p>既設管内空面積 (A1) = 0.503 m²</p> <p>更生管下半分内空面積 (A3) = 0.2121 m²</p> <p>「積算資料 I-41 参照」</p> <p>Q = { 1 m 当り充てん材注入量 × 0.01 + (既設管下半分内空面積 - 更生管下半分内空面積) × 0.05/2 } × 1000</p> <p>= { q × 0.01 + ($\frac{A1}{2}$ - A3) × 0.05/2 } × 1000</p> <p>= { 0.068 × 0.01 + ($\frac{0.503}{2}$ - 0.2121) × 0.05/2 } × 1000</p> <p>= 1.7 ℓ/箇所</p> <p>よって下半摺り付け部管口コーキング量は</p> <p>1.7 ℓ/箇所 × 2.00 箇所 = 3.4 ℓ</p>	ℓ	3.4

ダンビー工法数量計算書 No.147(145)

名 称	算 定 式	単位	数 量
-----	-------	----	-----

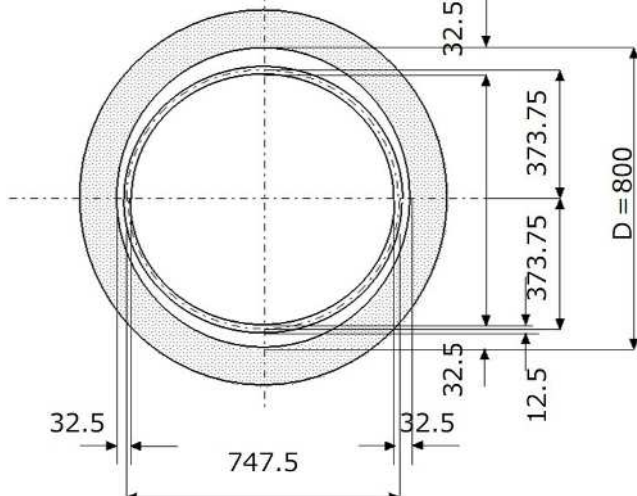
補強鉄筋日進量

(1) 補強鉄筋工			m/日	10.0
	・ 主鉄筋		重ね継手長	35 D
	1 周当たり長さ		分割数	2
	①主筋周長	②重ね継手増分	③一本長さ	小計③×分割数(m)
	2.482	0.350	1.591	3.182
	更生延長 1 m 当り		鉄筋径	D10
	本数/m	計(m)	kg/m	1m 当り重量(kg)
	4	12.728	0.560	7.13
	・ 配力筋			
	1 周当たり	鉄筋径	D10	
		本数/m	kg/m	1m 当り重量(kg)
		10	0.560	5.60
		1m 当り重量(kg)	12.730 kg	

ダンビー工法数量計算書 No.149(147)

名 称	算 定 式	単位	数 量
管きょ更生工事			
既設管口径		mm	800
路線延長		m	28.47
更生延長		m	27.12
①更生延長	(直線・曲線部) L = 27.120	m	27.12
巻立延長			
①巻立延長	(直線・曲線部) スパン数 L = 27.120 + 0.510 × 1 = 27.630 m	m	27.63
(1) 標準ストリップ管		m	27.12
	標準ストリップ	m	223.80
	SFジョイナー	m	223.80
(2) 製管工		m	27.12
	端部製管工	m	1.50
	製管工	m	25.62
	端部緊張工	箇所	2.00
	既設管洗浄工	m	27.12
(3) 充てん材注入工		m	27.12
	充てん材注入工	m	27.12
	充てん材ストッパー工	箇所	2.00
	管内注入口工	箇所	22.00
(4) 管口仕上げ工		箇所	2.00
(10) 取付管口仕上工	φ200mm以下	箇所	7.00
(12) 既設管補強工		m	27.12

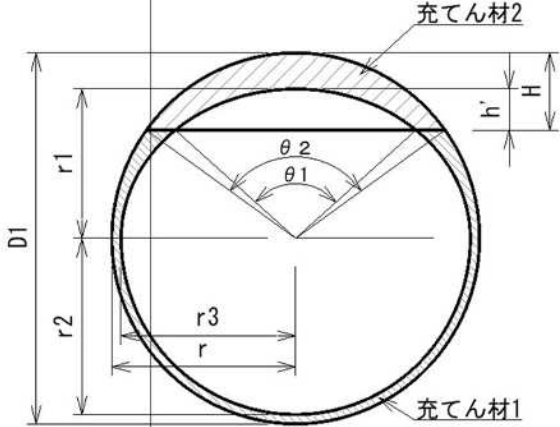
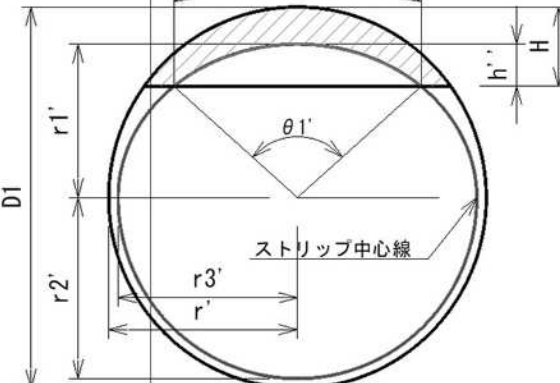
ダンビー工法数量計算書 No.149(147)

名 称	算 定 式	単位	数 量
標準ストリップ管			
(1) 標準ストリップ	<p>下図、更生断面図より算定</p>  <p>既設管内径 D = 800 mm = 0.800 m</p> <p>ストリップ種類 : S形 ストリップ容積 0.00111 m³/m</p> <p>ストリップ厚 t = 12.5 mm = 0.0125 m</p> <p>a : 373.75 mm = 0.3738 m</p> <p>b1 : 373.75 mm = 0.3738 m</p> <p>b2 : 373.75 mm = 0.3738 m</p> <p>ストリップ幅 255 mm ストリップ+ジョイナー幅 290 mm</p> <p>ストリップ円周長の算定（上部半断面を楕円、下部半断面を円として算定）</p> <p>上半楕円周長</p> $= \pi \times \left(\frac{a^2 + b_1^2}{2} \right)^{0.5} = 1.1742 \text{ m}$ <p>下半円周長</p> $= \pi \times \left(\frac{a^2 + b_2^2}{2} \right)^{0.5} = 1.1742 \text{ m}$ <p>周長</p> $= 1.1742 + 1.1742 = 2.348 \text{ m}$ <p>製管 1 m 当りのストリップ使用量</p> $L_1 = \left(\frac{1000}{290} \right) \times 2.348$ $= 8.1 \text{ m}$ <p>1 スパン当りのストリップ使用量</p> $= L_1 \times (1 \text{ スパン巻立延長})$ <p>(直線・曲線部) = 8.1 × 27.630 = 223.80 m</p> <p>(急曲線部) = 8.1 × = m</p>		
(2) SFジョイナー	<p>S形 -SFジョイナー</p> <p>1 スパン当りのジョイナー使用量 = ストリップ使用量</p> <p>(直線・曲線部) = 223.80 m</p> <p>(急曲線部) = m</p>	m	223.80

ダンビー工法数量計算書 No.149(147)

名 称	算 定 式	単位	数 量
製管工			
(2) 端部製管工	$L = 1.50 \text{ m} \times 1 \text{ スパン} : 1.50 \text{ m}$	m	1.50
(人力製管)	1 日当り製管延長 18 m/日		
(3) 製管工 直線区間 (機械製管)	$L = 27.120 - 1.5$ $= 25.620 \text{ m}$	m	25.62
(機械製管)	1 日当り製管延長 50 m/日		
(5) 端部緊張工	$N = 2 \text{ 箇所}$	箇所	2.00
(6) 既設管洗浄工	$L = \text{更生延長} = 27.12 \text{ m}$ 1 日当り既設管洗浄工延長 150 m	m	27.12
充てん材注入工			
(1) 充てん材注入工	$L = \text{更生延長} = 27.12 \text{ m}$	m	27.12
① 充てん材の算定	既設管内空面積 「積算資料 I - 13 参照」 $= A1 = \frac{\pi D^2}{4} = 0.503 \text{ m}^2$ 上半楕円内空面積 $= A2 = \frac{\{\pi (a-t/2)(b1-t/2)\}}{2} = 0.2121 \text{ m}^2$ 下半円内空面積 $= A3 = \frac{\{\pi (a-t/2)(b2-t/2)\}}{2} = 0.2121 \text{ m}^2$ 内空面積 計 0.424 m ² 1 m 当り充てん材注入量 (q) $= A1 - (A2 + A3) - \text{ストリップ管容量}$ $- \text{鋼材容量}$ $= 0.503 - (0.2121 + 0.2121)$ $- 8.1 \times 0.00111 \text{ *ストリップ管容量(m3/m)}$ $- 12.70 \div 7850 \text{ *鉄筋単位体積重量(kg/m3)}$ $= 0.068 \text{ m}^3/\text{m}$ 充てん材注入量 $= 27.12 \times 0.068 = 1.84 \text{ m}^3$	m ³	1.84

ダンビー工法数量計算書 No.149(147)

名 称	算 定 式	単位	数 量
②充てん材2の算定	<p>管頂部は、主材のみの充てん材（充てん材2）を注入する。</p> <p>「積算資料 I -13参照」</p>  <p>既設管内径 D1 800 mm</p> <p>既設管半径 r 400 mm</p> <p>楕円半径 r1 367.50 mm</p> <p>楕円半径 r2 367.50 mm</p> <p>楕円半径 r3 367.50 mm</p> <p>頂部内角 更生管 θ1 86.6 °</p> <p>頂部内角 充てん材 θ2 96.1 °</p> <p>充てん材2 高さ H 132.50 mm</p> <p>充てん切替位置高 h' 100.00 mm</p>  <p>既設管内径 D1 800 mm</p> <p>既設管半径 r 400 mm</p> <p>楕円半径 r1' 373.75 mm</p> <p>楕円半径 r2' 373.75 mm</p> <p>楕円半径 r3' 373.75 mm</p> <p>頂部内角 更生管 θ1' 88.6 °</p> <p>充てん材2 高さ H 132.50 mm</p> <p>充てん切替位置高 h'' 106.25 mm</p> <p>充てん材2（CAD計測） = 0.020 m3/m</p> <p>控除ストリップ長（CAD計測） = 0.578 m</p> <p>1 m当り充てん材注入量 (q2)</p> <p>= 充てん材2（CAD計測） - ストリップ管容量</p> <p>= 0.020 - 0.578 ÷ 0.290 × 0.001110</p> <p>= 0.018 m3/m</p>		
③充てん材1の算定	<p>管頂部以外の充てん材注入は主材と硬化材の2ショット方式（充てん材1）とする。</p> <p>充てん材1</p> <p>= 0.068 - 0.018 = 0.050 m³/m</p>		

ダンビー工法数量計算書 No.149(147)									
名 称	算 定 式						単位	数 量	
④ 1 日当り注入量の算定	1 日当り充てん材注入量 (標準)						4.0	m ³ /日	
	今回日作業時間 8 時間/日 より $4.0 \times 8/8 = 4.0$						m ³ /日		
	1 日当り充てん材注入延長 = 1 日当り充てん材注入量 ÷ 1 m 当り充てん材注入量								
	= 4.0 ÷ 0.068 = 59						m/日		
	1 日当り充てん材量								
	= 4.0 × 1.05 (割増率) = 4.2						m ³ /日		
	2 号 充てん材 1 「積算資料 I -37 参照」								
	= 4.2 × $\frac{0.050}{0.068} = 3.09$						m ³ /日	3.09	
	2 号 充てん材 2 「積算資料 I -37 参照」								
	= 4.2 × $\frac{0.018}{0.068} = 1.11$						m ³ /日	1.11	
(2) 充てん材ストッパー工	管上半面の既設管とストリップ管のクリアランスをモルタルで閉塞する。								
	充てん材ストッパー箇所数								
	N = 2 箇所						箇所	2.00	
	1 箇所当りモルタル量の算定								
	$t = 50 \text{ mm} = 0.05 \text{ m}$ $= 1 \text{ 箇所当り内空面積} \times \text{モルタル厚}$ $= 0.068 \times 0.05 = 0.003 \text{ m}^3$						m ³ /箇所	0.003	
(3) 管内注入口工	N = 22 箇所						箇所	22.00	
	30 箇所/日								
	N = 27.12 ÷ 3.0 × 2 = 18								
	N = 27.12 ÷ 7.0 = 4								
	計 22								
管内注入口は以下の延長に 1 箇所設ける。									
・ 左右2箇所に3m以内毎、および管頂部1箇所に7m以内毎 「積算資料 I -40 参照」									

- ・ 左右2箇所3m以内毎、および管頂部1箇所に7m以内毎

「積算資料 I -40参照」

ダンビー工法数量計算書 No.149(147)

名 称	算 定 式	単 位	数 量
管口仕上げ工			
(1) 管口仕上げ工	<p>人孔側壁と更生管の管口を管口コーキング材で仕上げる。</p> <p>N = 2 箇所</p>	箇所	2
① 下半面摺り付け	<p>・ 1 箇所当り管口コーキング量 (Q) の算定</p> <p>箇所 2</p> <div data-bbox="510 537 1133 1008"> </div> <p>・ 1箇所当り管口コーキング量 (Q) ℓ</p> <p>1 m当り充てん材注入量 (q) = 0.068 m3/m</p> <p>既設管内空面積 (A1) = 0.503 m2</p> <p>更生管下半分内空面積 (A3) = 0.2121 m2</p> <p>「積算資料 I -41参照」</p> <p>Q = { 1 m当り充てん材注入量×0.01 + (既設管下半分内空面積 - 更生管下半分内空面積) ×0.05/2 }×1000</p> <p>= { q × 0.01 + ($\frac{A1}{2}$ - A3)×0.05/2 } ×1000</p> <p>= { 0.068 × 0.01 + ($\frac{0.503}{2}$ - 0.2121)×0.05/2 } ×1000</p> <p>= 1.7 ℓ/箇所</p> <p>よって下半摺り付け部管口コーキング量は</p> <p>1.7 ℓ/箇所 × 2.00 箇所 = 3.4 ℓ</p>	ℓ	3.4

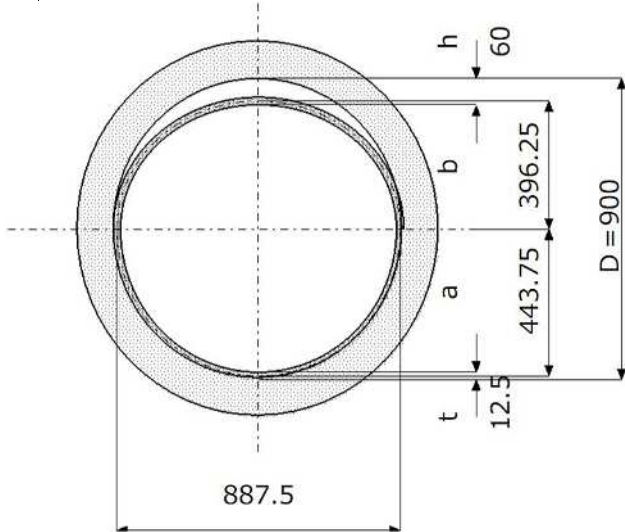
ダンビー工法数量計算書 No.149(147)

名 称	算 定 式			単位	数 量						
補強鉄筋日進量											
(1) 補強鉄筋工				m/日	10.0						
	・主鉄筋										
	重ね継手長 35 D										
	1 周当たり長さ		分割数 2								
	①主筋周長	②重ね継手増分	③一本長さ								
	2.482	0.350	1.591								
	更生延長 1 m 当り		鉄筋径 D10								
	本数/m	計(m)	kg/m								
	4	12.728	0.560								
	・配力筋										
<table><tr><td>1周当たり</td><td>鉄筋径</td><td>D10</td></tr><tr><td>本数/m</td><td>kg/m</td><td>1m当り重量(kg)</td></tr><tr><td>10</td><td>0.560</td><td>5.60</td></tr></table>			1周当たり	鉄筋径	D10	本数/m	kg/m	1m当り重量(kg)	10	0.560	5.60
1周当たり	鉄筋径	D10									
本数/m	kg/m	1m当り重量(kg)									
10	0.560	5.60									
<table><tr><td>1m当り重量(kg)</td><td>12.730 kg</td></tr></table>			1m当り重量(kg)	12.730 kg							
1m当り重量(kg)	12.730 kg										

ダンビー工法数量計算書 No.132(137)

名 称	算 定 式	単位	数 量
管きよ更生工事			
既設管口径		mm	900
路線延長		m	4.05
更生延長		m	2.30
①更生延長	(直線・曲線部) L = 2.300	m	2.30
巻立延長			
①巻立延長	(直線・曲線部) スパン数 L = 2.30 + 0.510 × 1 = 2.810 m	m	2.81
(1) 標準ストリップ管		m	2.30
	標準ストリップ	m	26.41
	SFジョイナー	m	26.41
(2) 製管工		m	2.30
	端部製管工	m	2.30
	端部緊張工	箇所	2.00
	既設管洗浄工	m	2.30
(3) 充てん材注入工		m	2.30
	充てん材注入工	m	2.30
	充てん材ストッパー工	箇所	2.00
(4) 管口仕上げ工		箇所	2.00
(10) 取付管口仕上工	φ200mm以下	箇所	0

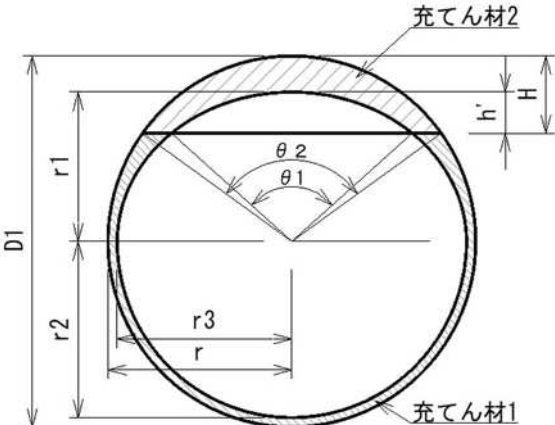
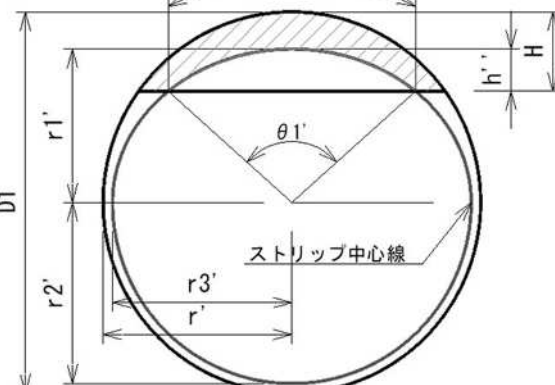
ダンビー工法数量計算書 No.132(137)

名 称	算 定 式	単位	数 量
標準ストリップ管			
(1) 標準ストリップ	<p>下図、更生断面図より算定</p>  <p>既設管内径 D = : 900 mm = 0.900 m</p> <p>ストリップ種類 : S形 ストリップ容積 0.00111 m³/m</p> <p>ストリップ厚 t = : 12.5 mm = 0.0125 m</p> <p>a : 443.75 mm = 0.4438 m</p> <p>b : 396.25 mm = 0.3963 m</p> <p>ストリップ幅 255 mm ストリップ+ジョイナー幅 290 mm</p> <p>ストリップ円周長の算定（上半断面を楕円、下半断面を円として算定）</p> <p>上半楕円周長</p> $= \pi \times \left(\frac{a^2 + b^2}{2} \right)^{0.5} = 1.3216 \text{ m}$ <p>下半円周長</p> $= \pi \times a = 1.3941 \text{ m}$ <p>周長</p> $= 1.3216 + 1.3941 = 2.716 \text{ m}$ <p>製管 1 m 当りのストリップ使用量</p> $L_1 = \left(\frac{1000}{290} \right) \times 2.716$ $= 9.4 \text{ m}$ <p>1 スパン当りのストリップ使用量</p> $= L_1 \times (1 \text{ スパン巻立延長})$ <p>(直線・曲線部) = 9.4 × 2.81 = 26.41 m</p> <p>(急曲線部) = 9.4 × = m</p>		
(2) SFジョイナー	<p>S形 -SFジョイナー</p> <p>1 スパン当りのジョイナー使用量 = ストリップ使用量</p> <p>(直線・曲線部) = 26.41 m</p> <p>(急曲線部) = m</p>	m	26.41

ダンビー工法数量計算書 No.132(137)

名 称	算 定 式	単位	数 量
製管工			
(1) スペーサー取付工	$L = 2.30 \text{ m}$ $1 \text{ 日当り取付延長 } 42.0 \text{ m/日}$	m	2.30
(2) 端部製管工 (人力製管)	$1 \text{ 日当り製管延長 } 18 \text{ m/日}$	m	2.30
(5) 端部緊張工	$N = 2 \text{ 箇所}$	箇所	2.00
(6) 既設管洗浄工	$L = \text{更生延長} = 2.30 \text{ m}$ $1 \text{ 日当り既設管洗浄工延長 } 150.0 \text{ m}$	m	2.30

ダンビー工法数量計算書 No.132(137)

名 称	算 定 式				単位	数 量	
充てん材注入工							
(1) 充てん材注入工	L	=	更生延長	=	2.30 m	m	2.30
① 充てん材の算定	既設管内空面積	「積算資料 I -13参照」					
	= A1	=	$\frac{\pi D^2}{4}$	=	0.636 m ²		
	上半楕円内空面積						
	= A2	=	$\frac{\{ \pi (a-t/2)(b-t/2) \}}{2}$	=	0.2680 m ²		
	下半円内空面積						
	= A3	=	$\frac{\{ \pi (a-t/2)^2 \}}{2}$	=	0.3007 m ²		
	内空面積 計					0.569 m ²	
	1 m 当り充てん材注入量(q)						
	= A1 - (A2 + A3) - ストリップ管容量 - 鋼材容量						
	= 0.636 - (0.2680 + 0.3007) - 9.4 × 0.00111 - 0.570 × 0.0015 = 0.056 m ³ /m						
充てん材注入量							
= 2.30 × 0.056 = 0.13 m ³						m ³	0.13
② 充てん材 2 の算定	管頂部は、主材のみの充填材（充てん材 2）を注入する。						
		既設管内径		D1	900	mm	
		既設管半径		r	450	mm	
		楕円半径		r1	390.00	mm	
		楕円半径		r2	437.50	mm	
		楕円半径		r3	437.50	mm	
		頂部内角 更生管		theta 1	90.5 °		
		頂部内角 充てん材		theta 2	99.8 °		
		充てん材 2 高さ		H	160	mm	
		充てん切替位置高		h'	100	mm	
		既設管内径		D1	900	mm	
		既設管半径		r	450	mm	
		楕円半径		r1'	396.25	mm	
		楕円半径		r2'	443.75	mm	
		楕円半径		r3'	443.75	mm	
		頂部内角 更生管		theta 1'	92.4 °		
		充てん材 2 高さ		H	160	mm	
		充てん切替位置高		h''	106.25	mm	

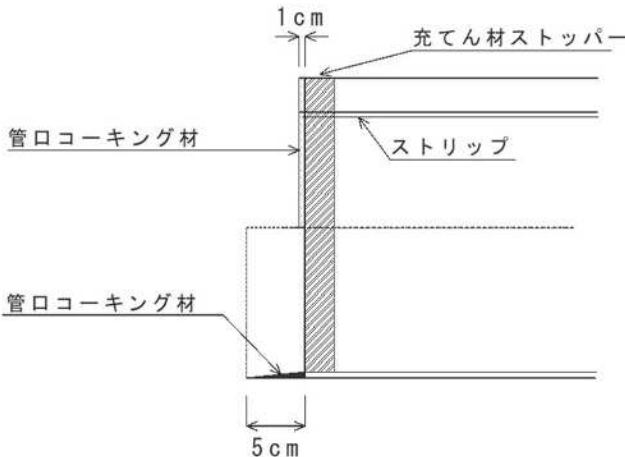
ダンビー工法数量計算書 No.132(137)

名 称	算 定 式	単位	数 量			
③ 充てん材 1 の算定	充てん材 2 (CAD計測) = 0.036 m3/m					
	控除ストリップ 長(CAD計測) = 0.654 m					
	1 m 当り 充てん材 注入量 (q2)					
	= 充てん材 2 (CAD計測) - ストリップ 管容量					
	= 0.036 - 0.654 ÷ 0.290 × 0.001110					
	= 0.033 m3/m					
	管頂部以外の充てん材注入は主材と硬化材の 2 ショット方式（充てん材 1）とする。					
	充てん材 1					
	= 0.056 - 0.033 = 0.023 m³／m					
	④ 1 日 当り 注入 量の 算 定					
「積算資料 I -37参照」						
1日 当り 注入 延長 および 充てん材 1 および 2 の 量						
既設管径(mm)	800	900	1000	1100	1200	1350
注入延長 (m)	80	71	51	47	43	38
充てん材1 (m³)	1.51	1.73	1.51	1.58	1.70	1.76
充てん材2 (m³)	2.69	2.47	2.69	2.62	2.50	2.44
既設管径(mm)	1500	1650	1800	2000	2100	2200
注入延長 (m)	26	24	22	20	15	14
充てん材1 (m³)	1.91	2.00	2.11	2.19	1.91	1.94
充てん材2 (m³)	2.29	2.20	2.09	2.01	2.29	2.26
既設管径(mm)	2300	2400	2500	2600	2700	2800
注入延長 (m)	13	13	12	10	9.7	9.4
充てん材1 (m³)	1.99	2.03	2.06	1.91	1.96	2.00
充てん材2 (m³)	2.21	2.17	2.14	2.29	2.24	2.20
既設管径(mm)	2300	2400				
注入延長 (m)	9.2	8.8				
充てん材1 (m³)	2.00	2.03				
充てん材2 (m³)	2.20	2.17				

ダンビー工法数量計算書 No.132(137)

名 称	算 定 式							単 位	数 量							
(2) 充てん材 ストッパー工	管上半面の既設管とストリップ管のクリアランスを モルタルで閉塞する。							箇所	2.00							
										充てん材ストッパー箇所数						
										N = 2 箇所						
	「積算資料 I -39参照」															
	1箇所当り急結モルタル量と施工歩掛（標準断面）															
	既設管径(mm)	800	900	1000	1100	1200	1350									
	急結モルタル(m³)	0.002	0.002	0.003	0.004	0.004	0.004									
	普通作業員(人)	0.08	0.08	0.11	0.15	0.15	0.15									
	既設管径(mm)	1500	1650	1800	2000	2100	2200									
	急結モルタル(m³)	0.006	0.007	0.008	0.008	0.011	0.012									
	普通作業員(人)	0.23	0.27	0.3	0.3	0.42	0.46									
	既設管径(mm)	2300	2400	2500	2600	2700	2800									
	急結モルタル(m³)	0.012	0.013	0.013	0.017	0.017	0.018									
	普通作業員(人)	0.46	0.49	0.49	0.65	0.65	0.68									
	既設管径(mm)	2900	3000													
急結モルタル(m³)	0.019	0.019														
普通作業員(人)	0.72	0.72														
								m³／箇所	0.002							

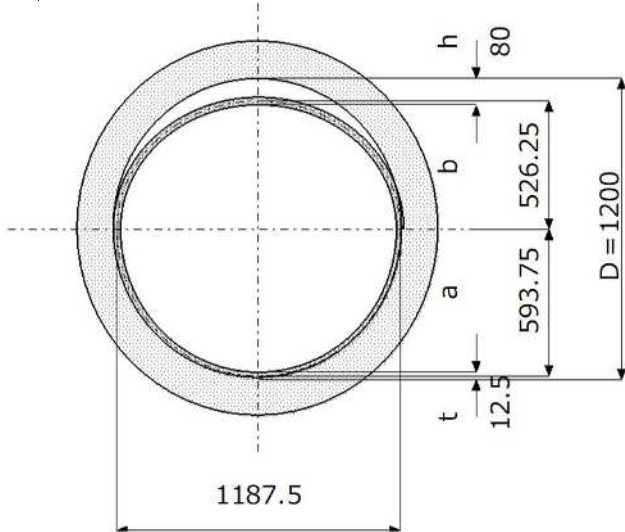
ダンビー工法数量計算書 No.132(137)

名 称	算 定 式	単位	数 量																																																											
管口仕上げ工																																																														
(1) 管口仕上げ工	人孔側壁と更生管の管口を管口コーキング材で仕上げる。 N = 2 箇所	箇所	2																																																											
①下半面摺付け	1箇所当り管口コーキング量の算定 箇所 2 <div></div> <div>「積算資料 I -41参照」</div> <table><tr><td colspan="7">1箇所当り管口仕上材使用量（標準断面）</td></tr><tr><td>既設管径(mm)</td><td>800</td><td>900</td><td>1000</td><td>1100</td><td>1200</td><td>1350</td></tr><tr><td>管口仕上材使用量</td><td>0.8</td><td>0.9</td><td>1.2</td><td>1.2</td><td>1.4</td><td>1.6</td></tr><tr><td>既設管径(mm)</td><td>1500</td><td>1650</td><td>1800</td><td>2000</td><td>2100</td><td>2200</td></tr><tr><td>管口仕上材使用量</td><td>2.3</td><td>2.5</td><td>2.8</td><td>3.1</td><td>4.3</td><td>4.5</td></tr><tr><td>既設管径(mm)</td><td>2300</td><td>2400</td><td>2500</td><td>2600</td><td>2700</td><td>2800</td></tr><tr><td>管口仕上材使用量</td><td>4.7</td><td>4.9</td><td>5.2</td><td>6.0</td><td>6.2</td><td>6.5</td></tr><tr><td>既設管径(mm)</td><td>2900</td><td>3000</td><td colspan="4" rowspan="2"></td></tr><tr><td>管口仕上材使用量</td><td>6.7</td><td>6.9</td></tr></table> = 0.9 ℓ /箇所 よって下半摺付け部の管口コーキング量は 0.9 ℓ /箇所 × 2.00 箇所 = 1.8 ℓ	1箇所当り管口仕上材使用量（標準断面）							既設管径(mm)	800	900	1000	1100	1200	1350	管口仕上材使用量	0.8	0.9	1.2	1.2	1.4	1.6	既設管径(mm)	1500	1650	1800	2000	2100	2200	管口仕上材使用量	2.3	2.5	2.8	3.1	4.3	4.5	既設管径(mm)	2300	2400	2500	2600	2700	2800	管口仕上材使用量	4.7	4.9	5.2	6.0	6.2	6.5	既設管径(mm)	2900	3000					管口仕上材使用量	6.7	6.9	ℓ	1.8
1箇所当り管口仕上材使用量（標準断面）																																																														
既設管径(mm)	800	900	1000	1100	1200	1350																																																								
管口仕上材使用量	0.8	0.9	1.2	1.2	1.4	1.6																																																								
既設管径(mm)	1500	1650	1800	2000	2100	2200																																																								
管口仕上材使用量	2.3	2.5	2.8	3.1	4.3	4.5																																																								
既設管径(mm)	2300	2400	2500	2600	2700	2800																																																								
管口仕上材使用量	4.7	4.9	5.2	6.0	6.2	6.5																																																								
既設管径(mm)	2900	3000																																																												
管口仕上材使用量	6.7	6.9																																																												

ダンビー工法数量計算書 No.121(126)

名 称	算 定 式	単位	数 量
管きよ更生工事			
既設管口径		mm	1200
路線延長		m	48.75
更生延長		m	45.20
①更生延長	(直線・曲線部) L = 45.200	m	45.20
巻立延長			
①巻立延長	(直線・曲線部) スパン数 L = 45.20 + 0.510 × 2 = 46.220 m	m	46.22
(1) 標準ストリップ管		m	45.20
	標準ストリップ	m	577.75
	SFジョイナー	m	577.75
(2) 製管工		m	45.20
	端部製管工	m	3.00
	製管工	m	42.20
	端部緊張工	箇所	4.00
	既設管洗浄工	m	45.20
(3) 充てん材注入工		m	45.20
	充てん材注入工	m	45.20
	充てん材ストッパー工	箇所	4.00
(4) 管口仕上げ工		箇所	4.00
(10) 取付管口仕上工	φ200mm以下	箇所	1.00
	φ300mm	箇所	2.00
	φ350mm	箇所	1.00

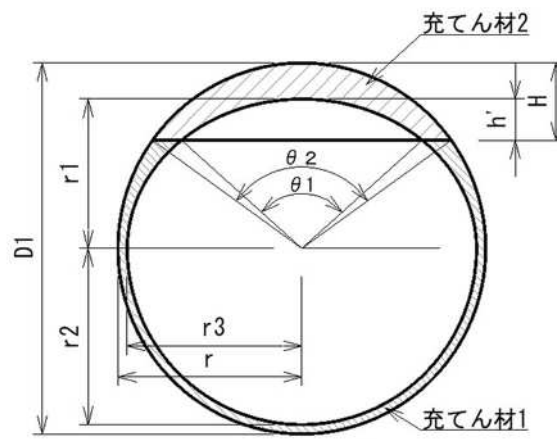
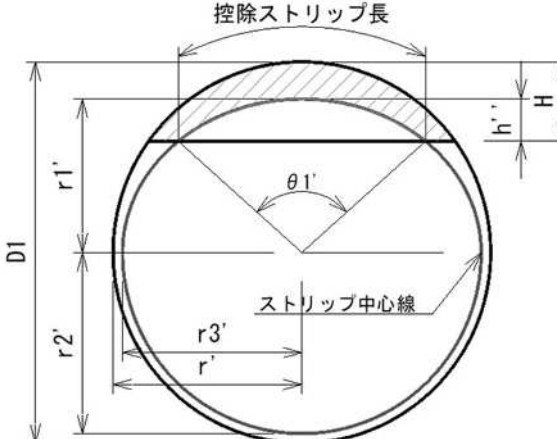
ダンビー工法数量計算書 No.121(126)

名 称	算 定 式	単位	数 量
標準ストリップ管			
(1) 標準ストリップ	<p>下図、更生断面図より算定</p>  <p>既設管内径 D = : 1200 mm = 1.200 m</p> <p>ストリップ種類 : S形 ストリップ容積 0.00111 m³/m</p> <p>ストリップ厚 t = : 12.5 mm = 0.0125 m</p> <p>a : 593.75 mm = 0.5938 m</p> <p>b : 526.25 mm = 0.5263 m</p> <p>ストリップ幅 255 mm ストリップ+ジョイナー幅 290 mm</p> <p>ストリップ円周長の算定（上半断面を楕円、下半断面を円として算定）</p> <p>上半楕円周長</p> $= \pi \times \left(\frac{a^2 + b^2}{2} \right)^{0.5} = 1.7625 \text{ m}$ <p>下半円周長</p> $= \pi \times a = 1.8653 \text{ m}$ <p>周長</p> $= 1.7625 + 1.8653 = 3.628 \text{ m}$ <p>製管 1 m 当りのストリップ使用量</p> $L_1 = \left(\frac{1000}{290} \right) \times 3.628$ $= 12.5 \text{ m}$ <p>1 スパン当りのストリップ使用量</p> $= L_1 \times (\text{2スパン巻立延長})$ <p>(直線・曲線部) = 12.5 × 46.22 = 577.75 m</p> <p>(急曲線部) = 12.5 × = m</p>		
(2) SFジョイナー	<p>S形 -SFジョイナー</p> <p>1 スパン当りのジョイナー使用量 = ストリップ使用量</p> <p>(直線・曲線部) = 577.75 m</p> <p>(急曲線部) = m</p>	m	577.75

ダンビー工法数量計算書 No.121(126)

名 称	算 定 式	単位	数 量
製管工			
(1) スペーサー取付工	$L = 45.20 \text{ m}$ $1 \text{ 日当り取付延長 } 48 \text{ m/日}$	m	45.20
(2) 端部製管工 (人力製管)	$L = 1.50 \text{ m} \times 2 \text{ スパン} = 3.00 \text{ m}$ $1 \text{ 日当り製管延長 } 18 \text{ m/日}$	m	3.00
(3) 製管工 直線区間 (機械製管)	$L = 45.20 - 3$ $= 42.20 \text{ m}$ $1 \text{ 日当り製管延長 } 50.0 \text{ m/日}$	m	42.20
(5) 端部緊張工	$N = 4 \text{ 箇所}$	箇所	4.00
(6) 既設管洗浄工	$L = \text{更生延長} = 45.20 \text{ m}$ $1 \text{ 日当り既設管洗浄工延長 } 200 \text{ m}$	m	45.20

ダンビー工法数量計算書 No.121(126)

名 称	算 定 式				単位	数 量	
充てん材注入工							
(1) 充てん材注入工	L	=	更生延長	=	45.20 m	m	45.20
①充てん材の算定	既設管内空面積 「積算資料 I -13参照」						
	=	A1	=	$\frac{nD^2}{4}$	=	1.131 m ²	
	上半楕円内空面積						
	=	A2	=	$\frac{\{n(a-t/2)(b-t/2)\}}{2}$	=	0.4799 m ²	
	下半円内空面積						
	=	A3	=	$\frac{\{n(a-t/2)^2\}}{2}$	=	0.5422 m ²	
	内空面積 計 1.022 m ²						
	1 m当り充てん材注入量(q)						
	=	A1	-	(A2 + A3)	-	ストリップ管容量	
	- 鋼材容量						
=	1.131	-	(0.4799 + 0.5422)				
- 12.5 × 0.00111							
- 0.590 × 0.0015 = 0.094 m ³ /m							
充てん材注入量							
=	45.20	×	0.094	=	4.25 m ³	m ³	4.25
②充てん材2の算定	管頂部は、主材のみの充填材（充てん材2）を注入する。						
		既設管内径		D1	1200	mm	
		既設管半径		r	600	mm	
		楕円半径		r1	520.00	mm	
		楕円半径		r2	587.50	mm	
		楕円半径		r3	587.50	mm	
		頂部内角 更生管		θ1	79.0	°	
		頂部内角 充てん材		θ2	91.1	°	
		充てん材2 高さ		H	180	mm	
		充てん切替位置高		h'	100	mm	
		既設管内径		D1	1200	mm	
		既設管半径		r	600	mm	
		楕円半径		r1'	526.25	mm	
		楕円半径		r2'	593.75	mm	
		楕円半径		r3'	593.75	mm	
		頂部内角 更生管		θ1'	80.8	°	
		充てん材2 高さ		H	180	mm	
		充てん切替位置高		h''	106.25	mm	

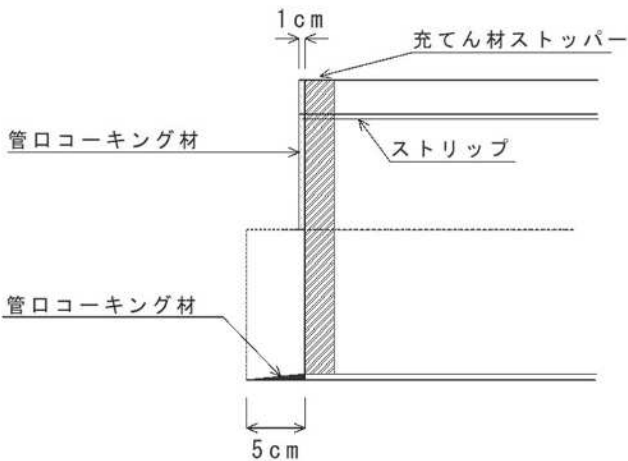
ダンビー工法数量計算書 No.121(126)

名 称	算 定 式						単位	数 量
③ 充てん材 1 の算定	充てん材 2 (CAD計測) = 0.059 m3/m							
	控除ストリップ 長(CAD計測) = 0.757 m							
	1 m 当り 充てん材 注入量 (q2)							
	= 充てん材 2 (CAD計測) - ストリップ 管容量							
	= 0.059 - 0.757 ÷ 0.290 × 0.001110							
	= 0.056 m3/m							
	管頂部以外の充てん材注入は主材と硬化材の							
	2 ショット方式（充てん材 1）とする。							
	充てん材 1							
	= 0.094 - 0.056 = 0.038 m³／m							
④ 1 日 当り 注入 量の 算 定	「積算資料 I -37参照」							
	1 日 当り 注入 延長 および 充てん材 1 および 2 の 量							
	既設管径(mm)	800	900	1000	1100	1200	1350	
	注入延長 (m)	80	71	51	47	43	38	
	充てん材1 (m³)	1.51	1.73	1.51	1.58	1.70	1.76	
	充てん材2 (m³)	2.69	2.47	2.69	2.62	2.50	2.44	
	既設管径(mm)	1500	1650	1800	2000	2100	2200	
	注入延長 (m)	26	24	22	20	15	14	
	充てん材1 (m³)	1.91	2.00	2.11	2.19	1.91	1.94	
	充てん材2 (m³)	2.29	2.20	2.09	2.01	2.29	2.26	
	既設管径(mm)	2300	2400	2500	2600	2700	2800	
	注入延長 (m)	13	13	12	10	9.7	9.4	
	充てん材1 (m³)	1.99	2.03	2.06	1.91	1.96	2.00	
	充てん材2 (m³)	2.21	2.17	2.14	2.29	2.24	2.20	
	既設管径(mm)	2300	2400					
	注入延長 (m)	9.2	8.8					
	充てん材1 (m³)	2.00	2.03					
	充てん材2 (m³)	2.20	2.17					

ダンビー工法数量計算書 No.121(126)

名 称	算 定 式							単 位	数 量							
(2) 充てん材 ストッパー工	管上半面の既設管とストリップ管のクリアランスを モルタルで閉塞する。							箇所	4.00							
										充てん材ストッパー箇所数						
										N = 4 箇所						
	「積算資料 I -39参照」															
	1箇所当り急結モルタル量と施工歩掛（標準断面）															
	既設管径(mm)	800	900	1000	1100	1200	1350									
	急結モルタル(m³)	0.002	0.002	0.003	0.004	0.004	0.004									
	普通作業員(人)	0.08	0.08	0.11	0.15	0.15	0.15									
	既設管径(mm)	1500	1650	1800	2000	2100	2200									
	急結モルタル(m³)	0.006	0.007	0.008	0.008	0.011	0.012									
	普通作業員(人)	0.23	0.27	0.3	0.3	0.42	0.46									
	既設管径(mm)	2300	2400	2500	2600	2700	2800									
	急結モルタル(m³)	0.012	0.013	0.013	0.017	0.017	0.018									
	普通作業員(人)	0.46	0.49	0.49	0.65	0.65	0.68									
	既設管径(mm)	2900	3000													
急結モルタル(m³)	0.019	0.019														
普通作業員(人)	0.72	0.72														
								m³／箇所	0.004							

ダンビー工法数量計算書 No.121(126)

名 称	算 定 式	単位	数 量																																																				
管口仕上げ工																																																							
(1) 管口仕上げ工	人孔側壁と更生管の管口を管口コーキング材で仕上げる。 N = 4 箇所	箇所	4																																																				
① 下半面摺付け	1 箇所当り管口コーキング量の算定 箇所 4 <div></div> <div>「積算資料 I -41参照」</div> <div>1箇所当り管口仕上材使用量（標準断面）</div> <table><tr><td>既設管径(mm)</td><td>800</td><td>900</td><td>1000</td><td>1100</td><td>1200</td><td>1350</td></tr><tr><td>管口仕上材使用量</td><td>0.8</td><td>0.9</td><td>1.2</td><td>1.2</td><td>1.4</td><td>1.6</td></tr><tr><td>既設管径(mm)</td><td>1500</td><td>1650</td><td>1800</td><td>2000</td><td>2100</td><td>2200</td></tr><tr><td>管口仕上材使用量</td><td>2.3</td><td>2.5</td><td>2.8</td><td>3.1</td><td>4.3</td><td>4.5</td></tr><tr><td>既設管径(mm)</td><td>2300</td><td>2400</td><td>2500</td><td>2600</td><td>2700</td><td>2800</td></tr><tr><td>管口仕上材使用量</td><td>4.7</td><td>4.9</td><td>5.2</td><td>6.0</td><td>6.2</td><td>6.5</td></tr><tr><td>既設管径(mm)</td><td>2900</td><td>3000</td><td colspan="4" rowspan="2"></td></tr><tr><td>管口仕上材使用量</td><td>6.7</td><td>6.9</td></tr></table> <div>= 1.4 ℓ /箇所</div> <div>よって下半摺付け部の管口コーキング量は</div> <div>1.4 ℓ /箇所 × 4.00 箇所 = 5.6 ℓ</div>	既設管径(mm)	800	900	1000	1100	1200	1350	管口仕上材使用量	0.8	0.9	1.2	1.2	1.4	1.6	既設管径(mm)	1500	1650	1800	2000	2100	2200	管口仕上材使用量	2.3	2.5	2.8	3.1	4.3	4.5	既設管径(mm)	2300	2400	2500	2600	2700	2800	管口仕上材使用量	4.7	4.9	5.2	6.0	6.2	6.5	既設管径(mm)	2900	3000					管口仕上材使用量	6.7	6.9	ℓ	5.6
既設管径(mm)	800	900	1000	1100	1200	1350																																																	
管口仕上材使用量	0.8	0.9	1.2	1.2	1.4	1.6																																																	
既設管径(mm)	1500	1650	1800	2000	2100	2200																																																	
管口仕上材使用量	2.3	2.5	2.8	3.1	4.3	4.5																																																	
既設管径(mm)	2300	2400	2500	2600	2700	2800																																																	
管口仕上材使用量	4.7	4.9	5.2	6.0	6.2	6.5																																																	
既設管径(mm)	2900	3000																																																					
管口仕上材使用量	6.7	6.9																																																					

日数算定表【補助・直工】

φ 800

更生延長 10.25m

通番143		数量	実日数	日進量	備考
補強鉄筋設置工		10.25m	1.03	10 m/日	見積歩掛
製管工	端部製管	1.50m	0.08	18 m/日	I-15、I-29
	機械製管	8.75m	0.18	50 m/日	I-15、I-31
管内注入口工		7箇所	0.23	30 箇所/日	I-16
管口仕上げ工(本管)		2箇所	0.68	2.94 箇所/日	下記参照
取付管口仕上げ工(φ200以下)		2箇所	0.40	5 箇所/日	I-51
充てん材注入工		10.25m	0.17	59 m/日	数量計算書参照
合計日数			2.77		
			3.00	(半日切上げ)	

- ・管口仕上げ工日進量算出式: $5 \div 1.7 = 2.94$ 箇所/日【積算資料 I-41】
- ・管口仕上げ工は積算資料C-4-1-1よりエポキシコーキング工50/日から算出。

日数算定表【補助・準備費】

	数量	実日数	日進量	備考
既設管洗浄工	10.25m	0.07	150 m/日	I-35
既設管調査工	10.25m	0.02	500 m/日	I-48
合計日数		0.09		

日数算定表【補助・直工】

φ 800

更生延長 36.03m

通番144	数量	実日数	日進量	備考
補強鉄筋設置工	36.03m	3.60	10 m/日	見積歩掛
製管工	端部製管	1.50m	0.08	I-15、I-29
	機械製管	34.53m	0.69	I-15、I-31
管内注入口工	29箇所	0.97	30 箇所/日	I-16
管口仕上げ工(本管)	2箇所	0.68	2.94 箇所/日	下記参照
取付管口仕上げ工(φ200以下)	9箇所	1.80	5 箇所/日	I-51
充てん材注入工	36.03m	0.61	59 m/日	数量計算書参照
合計日数		8.43		
		8.50	(半日切上げ)	

・管口仕上げ工日進量算出式: $5 \div 1.7 = 2.94$ 箇所/日【積算資料 I-41】

・管口仕上げ工は積算資料C-4-1-1よりエポキシコーキング工5ℓ/日から算出。

日数算定表【補助・準備費】

	数量	実日数	日進量	備考
既設管洗浄工	36.03m	0.24	150 m/日	I-35
既設管調査工	36.03m	0.07	500 m/日	I-48
合計日数		0.31		

日数算定表【補助・直工】

φ 800

更生延長 38.29m

通番145		数量	実日数	日進量	備考
補強鉄筋設置工		38.29m	3.83	10 m/日	見積歩掛
製管工	端部製管	1.50m	0.08	18 m/日	I-15、I-29
	機械製管	36.79m	0.74	50 m/日	I-15、I-31
管内注入口工		31箇所	1.03	30 箇所/日	I-16
管口仕上げ工(本管)		2箇所	0.68	2.94 箇所/日	下記参照
取付管口仕上げ工(φ200以下)		13箇所	2.60	5 箇所/日	I-51
取付管口仕上げ工(φ300)		1箇所	0.28	3.6 箇所/日	見積歩掛
充てん材注入工		38.29m	0.65	59 m/日	数量計算書参照
合計日数			9.89		
			10.00	(半日切上げ)	

・管口仕上げ工日進量算出式: $5 \div 1.7 = 2.94$ 箇所/日【積算資料 I-41】

・管口仕上げ工は積算資料C-4-1-1よりエポキシコーキング工59/日から算出。

日数算定表【補助・準備費】

	数量	実日数	日進量	備考
既設管洗浄工	38.29m	0.26	150 m/日	I-35
既設管調査工	38.29m	0.08	500 m/日	I-48
合計日数		0.34		

日数算定表【補助・直工】

φ 800

更生延長 27.12m

通番147		数量	実日数	日進量	備考
補強鉄筋設置工		27.12m	2.71	10 m/日	見積歩掛
製管工	端部製管	1.50m	0.08	18 m/日	I-15、I-29
	機械製管	25.62m	0.51	50 m/日	I-15、I-31
管内注入口工		22箇所	0.73	30 箇所/日	I-16
管口仕上げ工(本管)		2箇所	0.68	2.94 箇所/日	下記参照
取付管口仕上げ工(φ200以下)		7箇所	1.40	5 箇所/日	I-51
充てん材注入工		27.12m	0.46	59 m/日	数量計算書参照
合計日数			6.57		
			7.00	(半日切上げ)	

・管口仕上げ工日進量算出式: $5 \div 1.7 = 2.94$ 箇所/日【積算資料 I-41】

・管口仕上げ工は積算資料C-4-1-1よりエポキシコーキング工50/日から算出。

日数算定表【補助・準備費】

	数量	実日数	日進量	備考
既設管洗浄工	27.12m	0.18	150 m/日	I-35
既設管調査工	27.12m	0.05	500 m/日	I-48
合計日数		0.23		

日数算定表【補助・直工】

φ 900

更生延長 2.30m

通番137		数量	実日数	日進量	備考
スペーサー取付工		2.30m	0.05	42 m/日	I-15、I-28
製管工	端部製管	2.30m	0.13	18 m/日	I-15、I-29
	機械製管	0.00m	0.00	50 m/日	I-15、I-31
管内注入口工		0箇所	0.00	30 箇所/日	I-16
管口仕上げ工(本管)		2箇所	0.36	5.56 箇所/日	下記参照
取付管口仕上げ工(φ200以下)		0箇所	0.00	5 箇所/日	I-51
充てん材注入工		2.30m	0.03	71 m/日	I-16、I-37
合計日数			0.57		
			1.00	(半日切上げ)	

・管口仕上げ工日進量算出式: $5 \div 0.9 = 5.56$ 箇所/日【積算資料 I-41】

・管口仕上げ工は積算資料C-4-1-1よりエポキシコーキング工5ℓ/日から算出。

日数算定表【補助・準備費】

	数量	実日数	日進量	備考
既設管洗浄工	2.30m	0.02	150 m/日	I-35
既設管調査工	2.30m	0.00	500 m/日	I-48
合計日数		0.02		

日数算定表【補助・直工】

φ1200

更生延長 45.20m

通番126		数量	実日数	日進量	備考
スパーサー取付工		45.20m	0.94	48 m/日	I-15、I-28
製管工	端部製管	3.00m	0.17	18 m/日	I-15、I-29
	機械製管	42.20m	0.84	50 m/日	I-15、I-31
管内注入口工		0箇所	0.00	30 箇所/日	I-16
管口仕上げ工(本管)		4箇所	1.12	3.57 箇所/日	下記参照
取付管口仕上げ工(φ200以下)		1箇所	0.20	5 箇所/日	I-51
取付管口仕上げ工(φ300)		2箇所	0.56	3.6 箇所/日	見積歩掛
取付管口仕上げ工(φ350)		1箇所	0.32	3.1 箇所/日	見積歩掛
充てん材注入工		45.20m	1.05	43 m/日	I-16、I-37
合計日数			5.20		
			5.50	(半日切上げ)	

・管口仕上げ工日進量算出式: $5 \div 1.4 = 3.57$ 箇所/日【積算資料 I-41】

・管口仕上げ工は積算資料C-4-1-1よりエポキシコーキング工50/日から算出。

日数算定表【補助・準備費】

	数量	実日数	日進量	備考
既設管洗浄工	45.20m	0.23	200 m/日	I-35
既設管調査工	45.20m	0.09	500 m/日	I-48
合計日数		0.32		

2/2

[illegible]

発注ロット② 取付管更生材料（FRP光硬化ライニング工法）

項目		単位	取付管 番号32					適用
本管			通番144 φ 800					
管種			HP					
管径		mm	φ 200					取付管調査記録表
管体延長（施工延長）		m	1.40					
更生材料			φ 200					
更生材料 延長（管体延長+余長0.3m）		m	1.7					
更生材料 厚さ			5.5mm					
材料運搬費	φ 150 L=10mまで							
	φ 200 L=5mまで		1					
	φ 200 L=6m～10mまで							
取付管更生工	L=5m超							
	L=5m以下		1					
本管管口処理工	φ 800以上		1					
ます管口処理工			1					

止水工事、及び事前処理工 計上表

路線	本管・取付管	管径	侵入水a, b		取付管口侵入水a, b		取付管突出		モルタル付着		木根		適用
			当初	変更	当初	変更	当初	変更	当初	変更	当初	変更	
通番143	本管	φ 800	1										本管調査記録表
通番144	本管	φ 800	7		2				2				
通番145	本管	φ 800	1		2		1		1				
通番147	本管	φ 800	1		1								
通番137	本管	φ 900	1										
通番126	本管	φ 1200	3		1								
	本管		14	0	6	0	1	0	3	0	0	0	

路線	本管・取付管	管径	侵入水a, b		モルタル付着		適用
			当初	変更	当初	変更	
通番143	取付管	φ 150					取付管調査 記録表
		φ 200					
通番144	取付管	φ 150					
		φ 200					
通番145	取付管	φ 150					
		φ 200					
通番147	取付管	φ 150					
		φ 200					
通番137	取付管	φ 150					
		φ 200					
通番126	取付管	φ 150					
		φ 200					
	取付管	φ 150計	0	0	0	0	
	取付管	φ 200計	0	0	0	0	

○補・単の分けについて

	止水工	取付管突出除去	モルタル除去
本管	補助	単独	単独
取付管	単独	単独	単独

○積算計上方法について

	止水工	取付管突出除去	モルタル除去
本管	直工	準備費	準備費
取付管	直工	準備費	準備費

止水工 設計使用量

積算計上値

異常箇所集計表(本管部)【Y字管工法】補助

内 容	部 位	周長(m/箇所)	箇所数	補修長(m)	路 線	備 考
浸入水a・b	本管部(φ800)	2.51	1	2.5	通番143	
浸入水a・b	本管部(φ800)	2.51	7	17.6	通番144	
浸入水a・b	本管部(φ800)	2.51	1	2.5	通番145	
浸入水a・b	本管部(φ800)	2.51	1	2.5	通番147	
浸入水a・b	本管部(φ900)	2.83	1	2.8	通番137	国道
浸入水a・b	本管部(φ1200)	3.77	3	11.3	通番126	国道
合 計				39.2		

異常箇所集計表(取付管口部)【Y字管工法】補助

内 容	部 位	周長(m/箇所)	箇所数	補修長(m)	路 線	備 考
管口浸入水a,b	取付管口部(φ150)	0.47	2	0.9	通番144	
管口浸入水a,b	取付管口部(φ150)	0.47	2	0.9	通番145	
管口浸入水a,b	取付管口部(φ150)	0.47	1	0.5	通番147	
管口浸入水a,b	取付管口部(φ150)	0.47	1	0.5	通番126	国道
合 計				2.8		

異常箇所集計表(取付管内部)【パッカー工法】単独

内 容	部 位	周長(m/箇所)	箇所数	路 線	備 考
合 計					

止水工数量表

内 容	当初数量	単位	補・単	備 考	適用
本管Y字管注入工	39.2	m	補助	Y字管工法	管渠管径800mm～1350mm
取付管口注入工	2.8	m	補助	Y字管工法	管口部(取付管径φ150)
取付管内注入工	0	箇所	単独	パッカー工法	取付管(φ200)

Y字管注入工法 標準薬液注入量 補助

内 容	本管標準 m当り注入量 (L/m)	1日当り 作業量 (m)	1日当り 注入量 (L)	適用
本管部 φ800mm	73.21	15	1098.2	下水道施設維持管理積算要領2020 p131
本管部 φ900mm	71.24	15	1068.6	下水道施設維持管理積算要領2020 p131
本管部 φ1200mm	66.95	15	1004.3	下水道施設維持管理積算要領2020 p131
取付管口部 取付管(φ150mm)	73.67	18	1326.1	下水道施設維持管理積算要領2020 p131

Y字管注入工法 止水セメント量 補助

内 容	本管標準 m当り使用量 (kg/m)	1日当り 作業量 (m)	1日当り 止水セメント使用量 (L)	適用
本管部 φ800mm・900mm・1200mm	5.23	15	78.5	下水道施設維持管理積算要領2020 p133
取付管口部 取付管(φ150mm)	3.14	18	56.5	下水道施設維持管理積算要領2020 p133

【注入量計算】

①注入量計算【Y字管工法】 本管 φ 800

本管内径	0.8	m	
管厚	0.066	m	新潟市下水道施設基準図面集
周長	2.51	m	内径×円周率
D:管外径	0.932	m	内径+(管厚×2)
H:注入厚	0.3	m	下水道施設維持管理積算要領P132
L:注入幅	0.6	m	下水道施設維持管理積算要領P132

$$\begin{aligned}
 V: \text{注入範囲} &= \pi [(D+2H)^2 - D^2] / 4 \times L && \text{下水道施設維持管理積算要領P132} \\
 &= \pi \times \{ (0.932 + 0.6)^2 - 0.932^2 \} / 4 \times 0.6 \\
 &= 0.69667959 \text{ m}^3 \\
 &= 0.697 \text{ m}^3 && \text{有効数字小数点3桁、4桁目四捨五入}
 \end{aligned}$$

n:土の間隙率	0.4	下水道施設維持管理積算要領P133
α:充填率	0.6	下水道施設維持管理積算要領P133
β:損失係数	0.1	下水道施設維持管理積算要領P133

$$\begin{aligned}
 Q: \text{注入量} &= V \times n \times \alpha (1 + \beta) \times 1000 && \text{下水道施設維持管理積算要領P133} \\
 &= 0.697 \times 0.4 \times 0.6 (1 + 0.1) \times 1000 \\
 &= 184.0080 \text{ L} \\
 &= 184.008 \text{ L} && \text{有効数字小数点3桁、4桁目四捨五入}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 1 \text{ 箇所あたりの注入量} &= 184.008 \text{ L} \\
 1 \text{ 箇所あたりの注入量(m換算)} &= 73.21 \text{ L/m} && 1 \text{ 箇所あたりの注入量} \div \text{周長}
 \end{aligned}$$

②注入量計算【Y字管工法】 本管 φ 900

本管内径	0.9	m	
管厚	0.075	m	新潟市下水道施設基準図面集
周長	2.83	m	内径×円周率
D:管外径	1.05	m	内径+(管厚×2)
H:注入厚	0.3	m	下水道施設維持管理積算要領P132
L:注入幅	0.6	m	下水道施設維持管理積算要領P132

$$\begin{aligned}
 V: \text{注入範囲} &= \pi [(D+2H)^2 - D^2] / 4 \times L && \text{下水道施設維持管理積算要領P132} \\
 &= \pi \times \{ (1.05 + 0.6)^2 - 1.05^2 \} / 4 \times 0.6 \\
 &= 0.76340701 \text{ m}^3 \\
 &= 0.763 \text{ m}^3 && \text{有効数字小数点3桁、4桁目四捨五入}
 \end{aligned}$$

n:土の間隙率	0.4	下水道施設維持管理積算要領P133
α:充填率	0.6	下水道施設維持管理積算要領P133
β:損失係数	0.1	下水道施設維持管理積算要領P133

$$\begin{aligned}
 Q: \text{注入量} &= V \times n \times \alpha (1 + \beta) \times 1000 && \text{下水道施設維持管理積算要領P133} \\
 &= 0.763 \times 0.4 \times 0.6 (1 + 0.1) \times 1000 \\
 &= 201.4320 \text{ L} \\
 &= 201.432 \text{ L} && \text{有効数字小数点3桁、4桁目四捨五入}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 1 \text{ 箇所あたりの注入量} &= 201.432 \text{ L} \\
 1 \text{ 箇所あたりの注入量(m換算)} &= 71.24 \text{ L/m} && 1 \text{ 箇所あたりの注入量} \div \text{周長}
 \end{aligned}$$

③注入量計算【Y字管工法】 本管 φ 1200

本管内径	1.2	m	
管厚	0.095	m	新潟市下水道施設基準図面集
周長	3.77	m	内径×円周率
D:管外径	1.39	m	内径+(管厚×2)
H:注入厚	0.3	m	下水道施設維持管理積算要領P132
L:注入幅	0.6	m	下水道施設維持管理積算要領P132

$$\begin{aligned}
 V: \text{注入範囲} &= \pi [(D+2H)^2 - D^2] / 4 \times L && \text{下水道施設維持管理積算要領P132} \\
 &= \pi \times \{ (1.39 + 0.6)^2 - 1.39^2 \} / 4 \times 0.6 \\
 &= 0.95567249 \text{ m}^3 \\
 &= 0.956 \text{ m}^3 && \text{有効数字小数点3桁、4桁目四捨五入}
 \end{aligned}$$

n:土の間隙率	0.4	下水道施設維持管理積算要領P133
α:充填率	0.6	下水道施設維持管理積算要領P133
β:損失係数	0.1	下水道施設維持管理積算要領P133

$$\begin{aligned}
 Q: \text{注入量} &= V \times n \times \alpha (1 + \beta) \times 1000 && \text{下水道施設維持管理積算要領P133} \\
 &= 0.956 \times 0.4 \times 0.6 (1 + 0.1) \times 1000 \\
 &= 252.3840 \text{ L} \\
 &= 252.384 \text{ L} && \text{有効数字小数点3桁、4桁目四捨五入}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 1 \text{ 箇所あたりの注入量} &= 252.384 \text{ L} \\
 1 \text{ 箇所あたりの注入量(m換算)} &= 66.95 \text{ L/m} && 1 \text{ 箇所あたりの注入量} \div \text{周長}
 \end{aligned}$$

④注入量計算【Y字管工法】 取付管口φ150

本管内径	0.15	m	
管厚	0.0075	m	新潟市下水道施設基準図面集
周長	0.47	m	内径×円周率
D:管外径	0.165	m	内径+(管厚×2)
H:注入厚	0.3	m	下水道施設維持管理積算要領P132
L:注入幅	0.6	m	下水道施設維持管理積算要領P132

$$\begin{aligned}
 V: \text{注入範囲} &= \pi [(D+2H)^2 - D^2] / 4 \times L && \text{下水道施設維持管理積算要領P132} \\
 &= \pi \times \{ (0.165 + 0.6)^2 - 0.17^2 \} / 4 \times 0.6 \\
 &= 0.26295131 \text{ m}^3 \\
 &= 0.263 \text{ m}^3 && \text{有効数字小数点3桁、4桁目四捨五入}
 \end{aligned}$$

n:土の間隙率	0.4		下水道施設維持管理積算要領P133
α:充填率	0.6		下水道施設維持管理積算要領P133
β:損失係数	0.1		下水道施設維持管理積算要領P133

$$\begin{aligned}
 Q: \text{注入量} &= V \times n \times \alpha (1 + \beta) \times 1000 && \text{下水道施設維持管理積算要領P133} \\
 &= 0.263 \times 0.4 \times 0.6 (1 + 0.1) \times 1000 \\
 &= 69.4320 \text{ L} \\
 &= 69.432 \text{ L} && \text{有効数字小数点3桁、4桁目四捨五入}
 \end{aligned}$$

1箇所たりの注入量	=	69.432	L	
1箇所たりの注入量	=	34.716	L	管口のため注入量1/2
1箇所たりの注入量(m換算)	=	73.67	L/m	1箇所あたりの注入量÷周長

日数算定表

道路種別	対象路線	工 種	分類	種 別	規 格	適用 送風機(※)	数量	日進量	適用	実日数				
市道	通番143	本管 更生	補助・ 直工	ダンビー工法	更生工	50/60			別紙日数算定表参照	3.00	日			
				小計					3.00	日				
			補助・ 準備	ダンビー工法	洗浄工・調査工 (全路線分計上)	50/60			別紙日数算定表参照	1.31	日			
				小計					1.31	日				
		取付管 更生	単独・ 直工	FRP光硬化取付管ライニング工法	取付管更生工 φ100～φ200(5m以下)	50/60	0	箇所	4	箇所/日	2022.9 光硬化工法協会積算資料 P10	0.00	日	
					本管管口処理工 本管φ800以上(人的処理)	50/60	0	箇所	10	箇所/日	2022.9 光硬化工法協会積算資料 P37	0.00	日	
				小計						0.00	日			
		事前 処理	補助・ 直工	Y字管注入工法	既設管径φ800～1500	50/60	2.5	m	15	m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131	0.17	日	
					取付管管口φ150・200	50/60	0.0	m	18	m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131	0.00	日	
				小計						0.17	日			
			単独・ 直工	バッカー注入工法	取付管管内φ150	－	0	箇所	13	箇所/日	下水道施設維持管理積算要領2020 p124 本管目地:管径200mmを準用	0.00	日	
					取付管管内φ200	－	0	箇所	13	箇所/日	下水道施設維持管理積算要領2020 p124	0.00	日	
				小計						0.00	日			
			単独・ 準備	モルタル除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	0	箇所	10	箇所/日	見積もり	0.00	日	
				取付管突出し除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	0	箇所	10	箇所/日	見積もり	0.00	日	
				木根除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	0	箇所	10	箇所/日	見積もり	0.00	日	
				小計						0.00	日			
			合 計										4.48	日

※1 管内作業が伴う工程のみ計上

換気工(送風機規格 50/60m3/min)

補助・直工分	3.17	日
	3.50	日 半日単位切上
補助・準備分	1.31	日
	1.50	日 半日単位切上
単独・直工分	0.00	日
	0.00	日 半日単位切上
単独・準備分	0.00	日
	0.00	日 半日単位切上
合計	5.00	日

道路種別	対象路線	工 種	分類	種 別	規 格	適用 送風機(※)	数量		日進量		適用	実日数		
市道	通番144	本管 更生	補助・ 直工	ダンビー工法	更生工	50/60					別紙日数算定表参照	8.50	日	
				小計							8.50	日		
			補助・ 準備	ダンビー工法	洗浄工・調査工 (通番143で計上)	50/60					別紙日数算定表参照	0.00	日	
				小計							0.00	日		
		取付管 更生	単独・ 直工	FRP光硬化取付管ライニング工法	取付管更生工 φ100～φ200(5m以下)	50/60	1	箇所	4	箇所/日	2022.9 光硬化工法協会積算資料 P10	0.25	日	
					本管管口処理工 本管φ800以上(人的処理)	50/60	1	箇所	10	箇所/日	2022.9 光硬化工法協会積算資料 P37	0.10	日	
				小計								0.35	日	
		事前 処理	補助・ 直工	Y字管注入工法	既設管径φ800～1500	50/60	17.6	m	15	m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131	1.17	日	
					取付管管口φ150・200	50/60	0.9	m	18	m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131	0.05	日	
				小計								1.22	日	
			単独・ 直工	バッカー注入工法	取付管管内φ150	-	0	箇所	13	箇所/日	下水道施設維持管理積算要領2020 p124 本管目地:管径200mmを準用	0.00	日	
					取付管管内φ200	-	0	箇所	13	箇所/日	下水道施設維持管理積算要領2020 p124	0.00	日	
				小計								0.00	日	
			単独・ 準備	モルタル除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	2	箇所	10	箇所/日	見積り	0.20	日	
				取付管突出し除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	0	箇所	10	箇所/日	見積り	0.00	日	
				木根除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	0	箇所	10	箇所/日	見積り	0.00	日	
				小計								0.20	日	
		合 計											10.27	日

※1 管内作業が伴う工程のみ計上

換気工(送風機規格 50/60m3/min)

補助・直工分	9.72	日
	10.00	日 半日単位切上
補助・準備分	0.00	日
	0.00	日 半日単位切上
単独・直工分	0.35	日
	0.50	日 半日単位切上
単独・準備分	0.20	日
	0.50	日 半日単位切上
合計	11.00	日

道路種別	対象路線	工 種	分類	種別	規 格	適用 送風機(※)	数量	日進量	通用	実日数			
市道	通番145	本管 更生	補助・ 直工	ダンビー工法	更生工	50/60			別紙日数算定表参照	10.00	日		
				小計					10.00	日			
			補助・ 準備	ダンビー工法	洗浄工・調査工 (通番143で計上)	50/60			別紙日数算定表参照	0.00	日		
				小計					0.00	日			
		取付管 更生	単独・ 直工	FRP光硬化取付管ライニング工法	取付管更生工 φ100～φ200(5m以下)	50/60	0	箇所	4 箇所/日	2022.9 光硬化工法協会積算資料 P10	0.00	日	
					本官管口処理工 本管φ800以上(人的処理)	50/60	0	箇所	10 箇所/日	2022.9 光硬化工法協会積算資料 P37	0.00	日	
				小計					0.00	日			
		事前 処理	補助・ 直工	Y字管注入工法	既設管径φ800～1500	50/60	2.5	m	15 m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131	0.17	日	
					取付管管口φ150・200	50/60	0.9	m	18 m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131	0.05	日	
				小計					0.22	日			
			単独・ 直工	バッカー注入工法	取付管管内φ150	－	0	箇所	13 箇所/日	下水道施設維持管理積算要領2020 p124 本管目地:管径200mmを使用	0.00	日	
					取付管管内φ200	－	0	箇所	13 箇所/日	下水道施設維持管理積算要領2020 p124	0.00	日	
				小計					0.00	日			
			単独・ 準備	モルタル除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	1	箇所	10 箇所/日	見積もり	0.10	日	
				取付管突出し除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	1	箇所	10 箇所/日	見積もり	0.10	日	
				木根除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	0	箇所	10 箇所/日	見積もり	0.00	日	
				小計					0.20	日			
		合 計										10.42	日

※1 管内作業が伴う工種のみ計上

換気工(送風機規格 50/60m3/min)

補助・直工分	10.22	日	
	10.50	日	半日単位切上
補助・準備分	0.00	日	
	0.00	日	半日単位切上
単独・直工分	0.00	日	
	0.00	日	半日単位切上
単独・準備分	0.20	日	
	0.50	日	半日単位切上
合計	11.00	日	

道路種別	対象路線	工 種	分類	種別	規 格	適用 送風機(※)	数量		日進量		通用	実日数	
市道	通番147	本管 更生	補助・ 直工	ダンビー工法	更生工	50/60					別紙日数算定表参照	7.00	日
				小計						7.00	日		
			補助・ 準備	ダンビー工法	洗浄工・調査工 (通番143で計上)	50/60					別紙日数算定表参照	0.00	日
				小計							0.00	日	
		取付管 更生	単独・ 直工	FRP光硬化取付管ライニング工法	取付管更生工 φ100～φ200(5m以下)	50/60	0	箇所	4	箇所/日	2022.9 光硬化工法協会積算資料 P10	0.00	日
					本管管口処理工 本管φ800以上(人的処理)	50/60	0	箇所	10	箇所/日	2022.9 光硬化工法協会積算資料 P37	0.00	日
				小計								0.00	日
		事前 処理	補助・ 直工	Y字管注入工法	既設管径φ800～1500	50/60	2.5	m	15	m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131	0.17	日
					取付管管口φ150・200	50/60	0.5	m	18	m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131	0.03	日
				小計								0.20	日
			単独・ 直工	バッカー注入工法	取付管内φ150	－	0	箇所	13	箇所/日	下水道施設維持管理積算要領2020 p124 本管目地:管径200mmを準用	0.00	日
					取付管内φ200	－	0	箇所	13	箇所/日	下水道施設維持管理積算要領2020 p124	0.00	日
				小計								0.00	日
			単独・ 準備	モルタル除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	0	箇所	10	箇所/日	見積もり	0.00	日
				取付管突出し除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	0	箇所	10	箇所/日	見積もり	0.00	日
				木根除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	0	箇所	10	箇所/日	見積もり	0.00	日
				小計								0.00	日
		合 計											7.20

※1 管内作業が伴う工種のみ計上

換気工(送風機規格 50/60m3/min)

補助・直工分	7.20	日	
	7.50	日	半日単位切上
補助・準備分	0.00	日	
	0.00	日	半日単位切上
単独・直工分	0.00	日	
	0.00	日	半日単位切上
単独・準備分	0.00	日	
	0.00	日	半日単位切上
合計	7.50	日	

道路種別	対象路線	工 種	分類	種別	規 格	適用 送風機(※)	数量		日進量		適用	実日数	
国道	通番137	本管 更生	補助・ 直工	ダンビー工法	更生工	50/60					別紙日数算定表参照	1.00	日
				小計						1.00	日		
			補助・ 準備	ダンビー工法	洗浄工・調査工 (通番143で計上)	50/60					別紙日数算定表参照	0.00	日
				小計							0.00	日	
		取付管 更生	単独・ 直工	FRP光硬化取付管ライニング工法	取付管更生工 φ100～φ200(5m以下)	50/60	0	箇所	4	箇所/日	2022.9 光硬化工法協会積算資料 P10	0.00	日
					本官管口処理工 本管φ800以上(人的処理)	50/60	0	箇所	10	箇所/日	2022.9 光硬化工法協会積算資料 P37	0.00	日
				小計								0.00	日
		事前 処理	補助・ 直工	Y字管注入工法	既設管径φ800～1500	50/60	2.8	m	15	m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131	0.19	日
					取付管管口φ150・200	50/60	0.0	m	18	m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131	0.00	日
				小計								0.19	日
			単独・ 直工	バッカー注入工法	取付管管内φ150	-	0	箇所	13	箇所/日	下水道施設維持管理積算要領2020 p124 本管目地:管径200mmを使用	0.00	日
					取付管管内φ200	-	0	箇所	13	箇所/日	下水道施設維持管理積算要領2020 p124	0.00	日
				小計								0.00	日
			単独・ 準備	モルタル除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	0	箇所	10	箇所/日	見積り	0.00	日
				取付管突出し除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	0	箇所	10	箇所/日	見積り	0.00	日
				木根除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	0	箇所	10	箇所/日	見積り	0.00	日
				小計								0.00	日
		合 計											1.19

※1 管内作業が伴う工程のみ計上

換気工(送風機規格 50/60m3/min)

補助・直工分	1.19	日	
	1.50	日	半日単位切上
補助・準備分	0.00	日	
	0.00	日	半日単位切上
単独・直工分	0.00	日	
	0.00	日	半日単位切上
単独・準備分	0.00	日	
	0.00	日	半日単位切上
合計	1.50	日	

道路種別	対象路線	工 種	分類	種別	規 格	適用 送風機(※)	数量		日進量	適用	実日数		
国道	通番126	本管 更生	補助・ 直工	ダンビー工法	更生工	50/60				別紙日数算定表参照	5.50	日	
				小計						5.50	日		
			補助・ 準備	ダンビー工法	洗浄工・調査工 (通番143で計上)	50/60				別紙日数算定表参照	0.00	日	
				小計							0.00	日	
		取付管 更生	単独・ 直工	FRP光硬化取付管ライニング工法	取付管更生工 φ100～φ200(5m以下)	50/60	0	箇所	4	箇所/日	2022.9 光硬化工法協会積算資料 P10	0.00	日
					本管管口処理工 本管φ800以上(人的処理)	50/60	0	箇所	10	箇所/日	2022.9 光硬化工法協会積算資料 P37	0.00	日
				小計								0.00	日
		事前 処理	補助・ 直工	Y字管注入工法	既設管径φ800～1500	50/60	11.3	m	15	m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131	0.75	日
					取付管管口φ150・200	50/60	0.5	m	18	m/日	下水道施設維持管理積算要領2020 P131	0.03	日
				小計								0.78	日
			単独・ 直工	バッカー注入工法	取付管管内φ150	-	0	箇所	13	箇所/日	下水道施設維持管理積算要領2020 p124 本管目地:管径200mmを準用	0.00	日
					取付管管内φ200	-	0	箇所	13	箇所/日	下水道施設維持管理積算要領2020 p124	0.00	日
				小計								0.00	日
			単独・ 準備	モルタル除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	0	箇所	10	箇所/日	見積り	0.00	日
				取付管突出し除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	0	箇所	10	箇所/日	見積り	0.00	日
				木根除去	既設管径φ800以上1500未満	50/60	0	箇所	10	箇所/日	見積り	0.00	日
				小計								0.00	日
		合 計											6.28

※1 管内作業が伴う工程のみ計上

換気工(送風機規格 50/60m3/min)

補助・直工分	6.28	日	
	6.50	日	半日単位切上
補助・準備分	0.00	日	
	0.00	日	半日単位切上
単独・直工分	0.00	日	
	0.00	日	半日単位切上
単独・準備分	0.00	日	
	0.00	日	半日単位切上
合計	6.50	日	

換気工（50/60m3/2）及び交通誘導員算出表

通番	143	144	145	147	137	126	合計
補助（直工）	3.5	10.0	10.5	7.5	1.5	6.5	39.5
補助（準備）	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5
単独（直工）	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
単独（準備）	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	1.0
合計（路線毎）	5.0	11.0	11.0	7.5	1.5	6.5	
合計（全路線）	42.5						
交通誘導員A（国道：通番137・126適用）							
	配置人数（人/日）				1.5	1.5	交代要員含む
補助	作業日数【直工+準備】				1.5	6.5	
	計上人数（人日）（路線毎）				2.5	10.0	
	計上人数（人日）（全路線）	12.5					
単独	作業日数【直工+準備】				0.0	0.0	
	計上人数（人日）（路線毎）				0.0	0.0	
	計上人数（人日）（全路線）	0.0					
交通誘導員B（全路線適用）							
	配置人数（人/日）	3	2	3	2	2	3
	配置人数（人/日）	4.0	2.5	4.0	2.5	2.5	3.5
補助	作業日数【直工+準備】	5.0	10.0	10.5	7.5	1.5	6.5
	計上人数（人日）（路線毎）	20.0	25.0	42.0	19.0	4.0	23.0
	計上人数（人日）（全路線）	133.0					
単独	作業日数【直工+準備】	0.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0
	計上人数（人日）（路線毎）	0.0	2.5	2.0	0.0	0.0	0.0
	計上人数（人日）（全路線）	4.5					

：積算計上数量

：合計作業日数